

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 Y-430SQd	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お客様 ご住所	様 TEL()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

marumie

駐車監視強化
360°&リアカメラドライブレコーダー

Y-430SQd

取扱説明書 12V車専用

 **Bluetooth®**

画面自動オフ機能 搭載

動画記録モード時に無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。(初期値：30 秒後)



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフト/専用アプリは付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



スマートフォンの動作状況によっては通知が行われないことがあります。
あらかじめご了承ください。



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF してからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源 ON の状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
microSDカード破損の原因となります。必ず電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。



SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら…	12
SDカードをフォーマットする	14

基礎知識

各部の名称と働き	16
1. 付属品	18
2. 別売品	19
3. 付属品・別売品の購入について	19
SDカードの取り外し/装着	20
1. SDカードを本体から取り外す	20
2. SDカードを本体へ装着する	20
動画記録モード	21
録画について	22
1. 常時録画	24
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	24
3. 上書きモードについて	25
駐車記録について	27
1. タイムラプスモード	27
2. 動体検知モード	28
3. 駐車記録モード(タイムラプス/動体検知) への切替方法	30
4. 履歴表示	33
駐車監視機能について	34
1. スマートフォン通知	34
2. ライブ映像	34
3. LCDフラッシュ&サイレン	34
メンテナンスについて	35
初期値について	36

すぐに使う

本機の取り付け	38
1. フロントカメラユニットを取り付ける	39
2. リアカメラユニットを取り付ける	41
3. リアカメラケーブルを接続する	42
4. 電源を接続する	43

別売品の取り付け	45
1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法…	45
2. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L) の接続方法	48

電源ON～OFFまでの手順	52
1. 電源ON(録画を開始する)	52
2. 録画を一時停止する	53
3. 録画を再開する	53
4. ワンタッチ記録をする	54
5. 音声録音をON/OFFする	54
6. 画面表示を切り替える	55
7. 電源OFF(録画を停止する)	56

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	59
1. 設定メニューを表示する	59
2. 録画を再開する	59
設定メニュー	60
Bluetoothペアリング	63
1. Bluetoothペアリングする	63
SD初期化(フォーマット)	65
1. SDカードをフォーマットする	65

再生する

再生モードの表示・再生方法	66
1. 再生モードを表示する	66
2. 本機で録画ファイルを再生する	66
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する (表示メニューを表示する)	67
4. 録画を再開する	68
再生モード	69
録画ファイルの保護/保護解除 ・削除について	71
1. 録画ファイルを保護/保護解除する	71
2. 録画ファイルを削除する	72

専用アプリ

専用アプリについて	73
1. 専用アプリをインストールする	73
2. 無線LAN接続する	73

3. ライブ映像画面	77
4. ビデオ表示モード	78
5. 画面タッチ操作	79
6. カメラ切替	79

専用アプリの操作 80

1. 録画操作	80
2. 音声録音をON/OFFする	81
3. 警報する	81

カメラリスト 82

1. カメラリスト画面を表示する	82
------------------------	----

再生 84

1. アルバム画面を表示する	84
2. 再生する	86
3. 閲覧先のフォルダを変更する	88

録画ファイルの保存(コピー)/削除... 89

1. 録画ファイルを保存(コピー)する	89
2. 録画ファイルを削除する	89

設定画面の表示方法 90

1. ドライブレコーダー設定画面を表示する ...	90
2. アプリ設定画面を表示する	92

設定画面 93

1. ドライブレコーダー設定画面	93
2. アプリ設定画面	96

スマートフォンにイベント記録を 自動保存する 97

1. 自動保存する	97
-----------------	----

SDカード初期化(フォーマット) ... 99

1. SDカードをフォーマットする	99
-------------------------	----

スマートフォンストレージ制限値 ... 100

1. 自動保存を制限する残容量を設定する ...	100
--------------------------	-----

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する 101

1. 専用ビューアソフトをインストールする ...	101
2. 専用ビューアソフトを起動する	101
3. 録画ファイルを再生する	101
4. 専用ビューアソフトを終了する	102

専用ビューアソフト 103

1. 専用ビューアソフトの画面について	103
2. 表示エリアの操作について	105
3. 表示切替について	106

その他

録画ファイルの読み出しについて ... 107

1. 専用ビューアソフトを使用せずに 録画ファイルを再生する	107
---	-----

こんなときは 111

故障かな?と思ったら 114

仕様 117

microSDカード対応一覧表 119

1. 録画時間の目安	119
2. イベント記録の最大記録件数	120

索引 121

アフターサービス 127

1. お客様ご相談センター	127
---------------------	-----

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.123「アフターサービス」

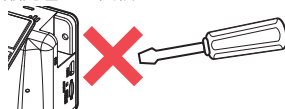
- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

- 🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- 🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- 🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- 🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ❌ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ❌ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

- ❌ 本機を改造しないでください。

故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

- ⚠️ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠️ 注意

- ❌ 結露したまま使い続けしないでください。故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。



- ❌ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

- ⚠️ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて(共通)

⚠️ 警告

- ❗️ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ❗️ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

- ❗️ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠️ 注意

- ❗️ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗️ 突起部分などにご注意ください。

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをする恐れがあります。

- ❗️ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

- ❗️ テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。

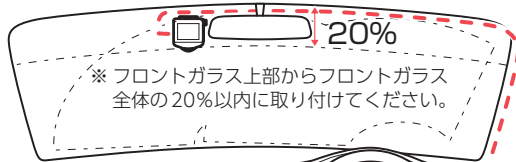
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下の縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



●取り付けについて(リアカメラユニット)

警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。

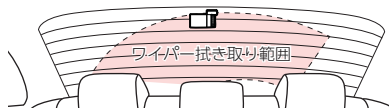
- ❗ 付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。

- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

警告

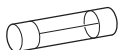
- ❗ 電源コードは確実に挿し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



⚠ 注意

- ❗ 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。
故障や感電の原因となります。必ずコネクタ部を持って抜いてください。



●SDカードについて

⚠ 注意

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ペンシンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルを上書きされないように必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

- ・ SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自システムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- ・ SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
- ・ SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・ 付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機または専用アプリでフォーマットしてください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
- ・ SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・ サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けられないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 電波干渉について (無線LAN)

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線設備として技術基準適合を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。海外で使用する各国の電波法に抵触する可能性があります。

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止してください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様相談センターへお問い合わせください。(☎ P.123)

2.4 DS/OF 4

- ・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

DS/OF: 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。

4: 電波干渉距離は40m以下です。

■ ■ ■: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ 電波法に関する注意

- ・本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 電波干渉について (Bluetooth)

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- ・本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用を中止してください。
- ・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様相談センターへお問い合わせください。(☎ P.123)

2.4 FH 4

- ・この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4: 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。

4: 電波干渉距離は40m以下です。

■ ■ ■: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ 駐車監視機能について

- ・駐車中において本機能の使用には別売オプションが必要です。
- ・本機能の通信範囲は戸建てに隣接する平置き駐車場での使用を想定しています。鉄筋コンクリートやシャッター、雨戸、大理石などは使用する無線電波の反射・減衰が起こる場合があります。また、電波を用いる電化製品などでは電波干渉が起こる場合があります。そのため周辺環境により通信距離が短くなったり通信できない場合があります。
- ・5G対応のスマートフォンは、周辺環境等の状況によってはモバイルデータ通信をOFFにしないと接続できない場合があります。

MEMO

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

もしも事故が起きたら…

事故発生



記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

付属品の電源コード接続時

1

車両を停止(ACC OFF)する

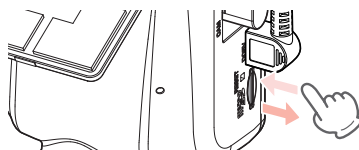


電源ランプ

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

2

SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3

SDカードを保管する

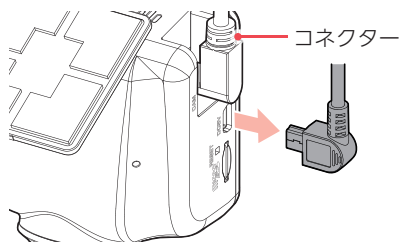
<保管場所について>

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。



別売品のマルチバッテリー、 または駐車監視用 電源直結コード接続時

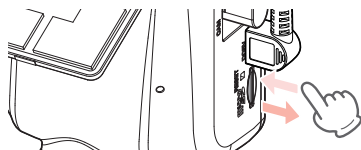
1 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す



電源ランプ

電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上
消灯したことを確認してください。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意
ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意
してください。SDカードは小さいため、
車内で落とすとシートの隙間などに入り
込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については ➡ P.12 を参照してください。



バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像
の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマット
するの？



- ・付属品以外のSDカードを使用するとき。(初回のみ)
- ・解像度/フレームレートを変更するとき。(P.60、93)

※フォーマットを行うと、録画ファイルが全て(保護ファイル含む)削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※エラーメッセージ(P.111)が表示されている場合は、いずれかのボタンを押してからフォーマットを行ってください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

「SD ボタン」を使うフォーマット方法

1

車両を始動 (ACC ON) する

録画を開始します。

- ・電源ランプ(赤)が点灯
- ・記録時間を表示



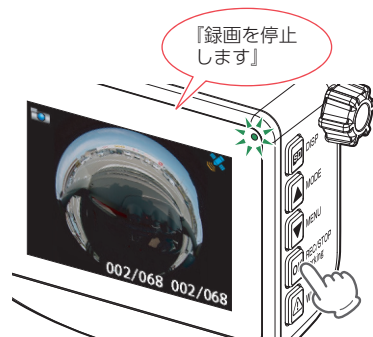
※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードエラーです」と音声でお知らせし、フォーマット画面(3)を表示します。

2

OK ボタンを押す

録画を一時停止します。

- ・電源ランプ(緑)が点灯
- ・記録時間が非表示



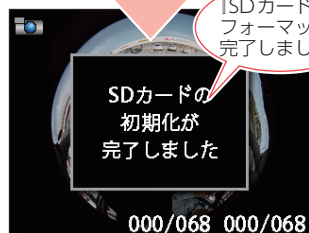
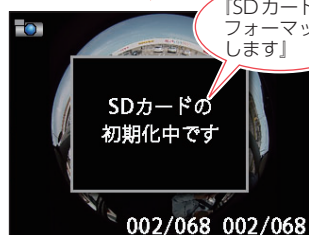
3 SD ボタンを3秒以上長押しする

フォーマット画面を表示します。



4 [実行]を選択し、OK ボタンを押す

フォーマットを開始します。



フォーマット完了後は自動で録画を開始します。

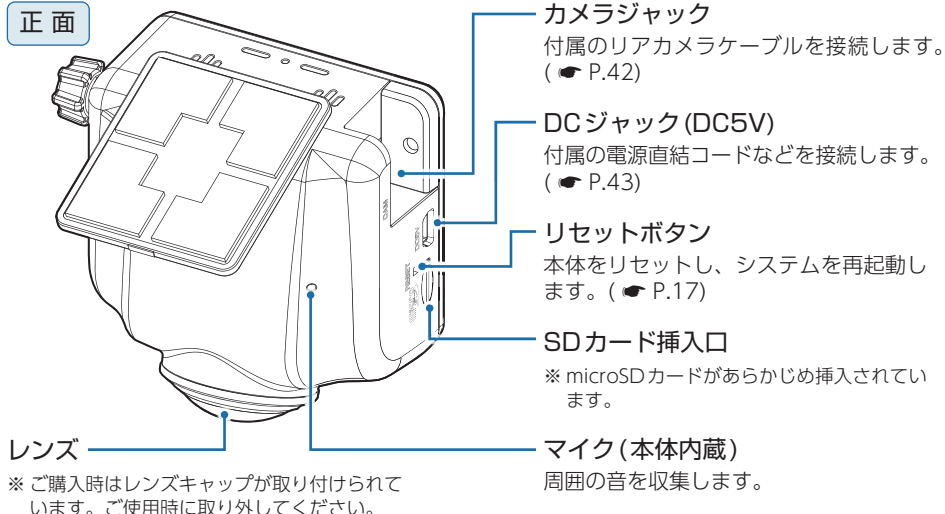


設定メニューからフォーマットする場合は、P.65を参照ください。
専用アプリからフォーマットする場合は、P.99を参照ください。

各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

正面



技術基準適合証明ラベル / シリアルナンバー

技術基準適合証明ラベルと製造番号が印刷されています。

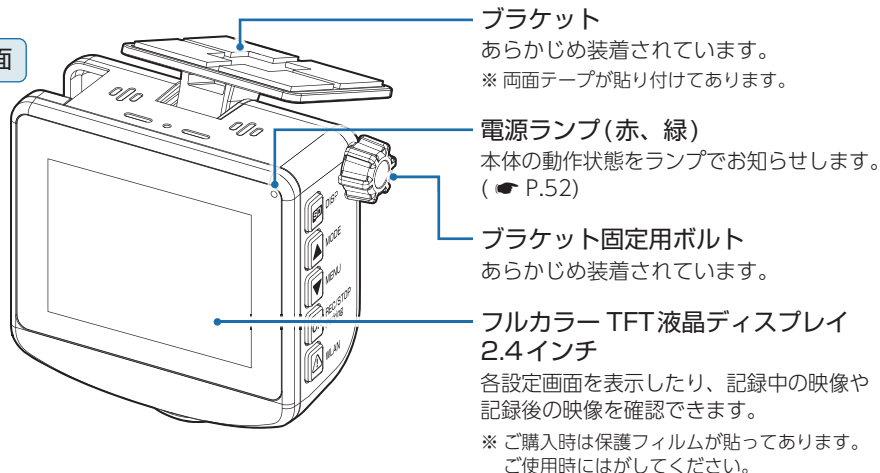
※ 技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。



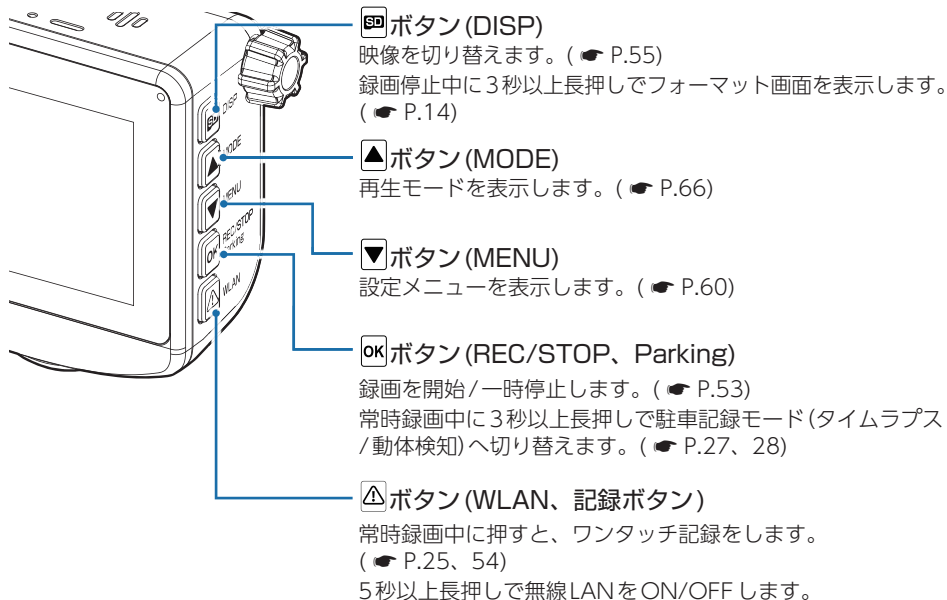
スピーカー

音声によるお知らせなどが出ます。

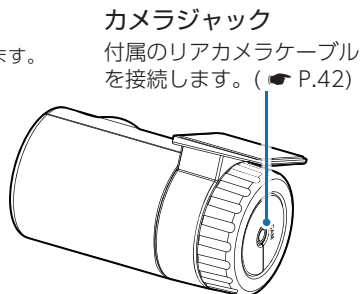
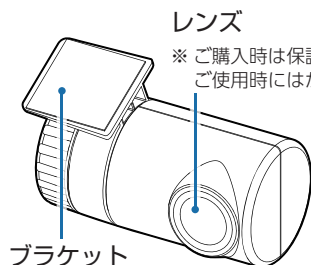
背面



操作ボタン



■ リアカメラユニット



■ リセットボタンについて

画面が固まって
動かない

ボタンを押しても
反応しない

こんなときは



リセットボタンを
押して再起動して
ください。



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット側面のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- リアカメラ用ブラケット
(🔍 P.41) 1



- リアカメラ用両面テープ 1



(20mm × 20mm)

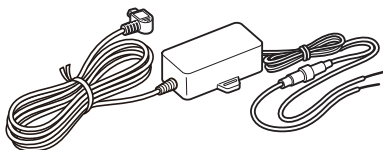
- リアカメラ用ナット (🔍 P.41) ... 1



- リアカメラケーブル (約9m)
(🔍 P.42) 1



- 5V コンバーター付電源直結コード
(約4m) (12V車専用)
(🔍 P.43) 1



- ドライブレコーダー搭載
ステッカー 1

※ 保安基準上、フロントガラスおよび運転席、
助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に
貼り付けしないでください。

- microSD カード (32GB) 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

- 取扱説明書・保証書 (本書) 1

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)
- ・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ マルチバッテリー※1

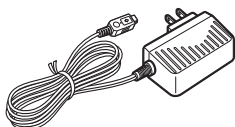
OP-MB4000 (12V車専用)

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。(P.45)

本体	1
入力コード	1
出力コード	1
面ファスナー	1

■ ACアダプター OP-E368

ご家庭で使うことができます。



■ 駐車監視用 電源直結コード※1※2

OP-VMU5L (12V/24V車対応)

車両バッテリーに繋げて使用する、オフタイマー設定・車両バッテリー監視機能付きの電源直結コードです。ACC ON/OFFと連動して常時録画⇄駐車記録モードを自動で切り替えます。(P.48)

本体	1
両面テープ	1

■ 専用 microSD カード

OP-SD32M (32GB)

OP-SD64M (64GB)

※1：マルチバッテリー (OP-MB4000) と駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5L) は組み合わせて使用できません。

※2：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車のご使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- ・電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

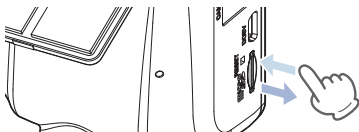
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリー、または駐車監視用 電源直結コードを接続している場合は、初めに本体から電源コードを取り外してください。(➡ P.13)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

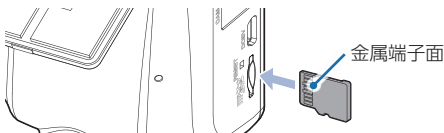
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する

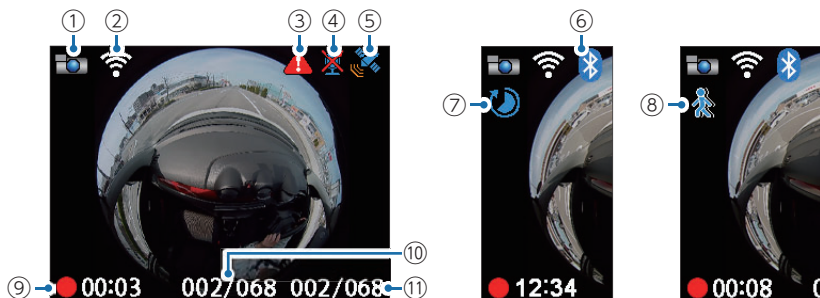


SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説 明
①	リアカメラ接続アイコン	リアカメラの接続状態を表示します。 ：接続時、：未接続時
②	無線LANアイコン※ ¹	無線LANの接続状態を表示します。 ：接続時、：待機時
③	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
④	音声記録OFFアイコン	音声録音が[OFF]の時に表示します。
⑤	GPSアイコン※ ²	GPSの受信状態を表示します。：測位時、：非測位時
⑥	Bluetoothアイコン※ ¹	Bluetoothの接続状態を表示します。 （青背景）：接続時、（灰色背景）：待機時
⑦	タイムラプスアイコン	タイムラプスモード中に表示します。
⑧	動体検知アイコン	動体検知モード中に表示します。 ：有効時、：無効時
⑨	記録時間※ ³ ※ ⁴	録画中に現在の録画時間を表示します。
⑩	Gセンサー記録ファイル数	現在のGセンサー記録ファイル数/最大記録ファイル数を表示します。
⑪	ワンタッチ記録ファイル数	現在のワンタッチ記録ファイル数/最大記録ファイル数を表示します。

※¹：停止時は非表示になります。

※²：タイムラプスモード中は非表示になります。

※³：タイムラプスモード中はフレームレートは1コマ/秒(1FPS)で固定になり、1ファイル単位が14分または7分になります。

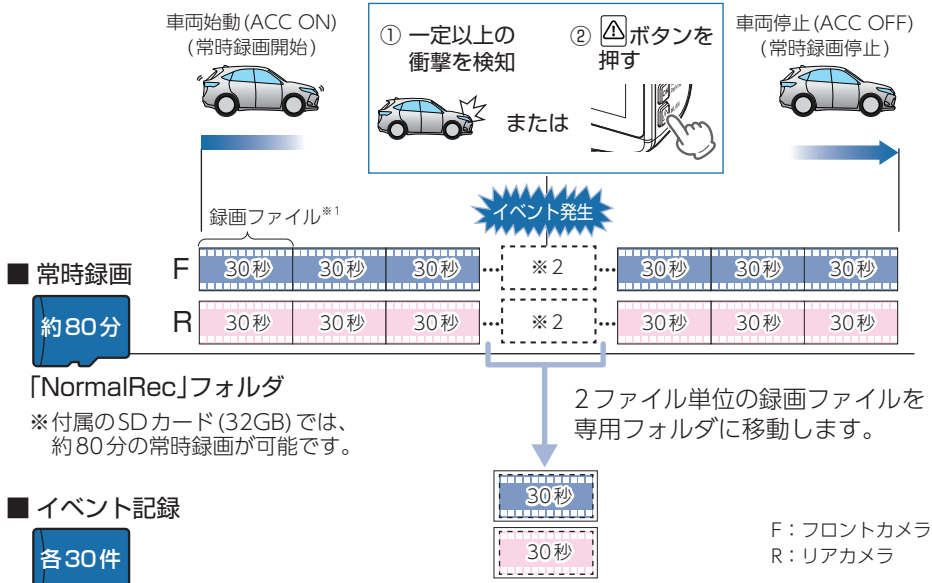
※⁴：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例 00:29→00:00→00:01…)

ボタン	機 能	
 ボタン	短押し	映像を切り替えます。(● P.55)
	長押し	録画停止中に3秒以上長押しでフォーマットを開始する画面へ移行します。(● P.14)
 ボタン	短押し	再生モードを表示します。(● P.66)
	長押し	3秒以上長押しで音声録音をON/OFFします。(● P.54)
 ボタン	短押し	設定メニューを表示します。(● P.59)
 ボタン	短押し	録画を開始/一時停止します。
	長押し	常時録画中に3秒以上長押しで駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へ切り替えます。(● P.27、28)
 ボタン	短押し	録画中に押すとワンタッチ記録を行います。(● P.25、54)
	長押し	5秒以上長押しで無線LANをON/OFFします。(● P.73)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。

イベント記録は2通り



「GsensorRec」フォルダ …… Gセンサー記録

「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録

※付属のSDカード(32GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて60件のイベント記録が可能です。

※1: タイムラプスモード中は14分または7分の映像が1ファイルになります。(● P.27)

※2：イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。

A：イベント発生タイミングが録画開始直後 ① の「0～15秒未満」の場合

B：イベント発生タイミングが ③ の「16～30秒未満」の場合

C：イベント発生タイミングが ⑥ の「15～16秒未満」の場合

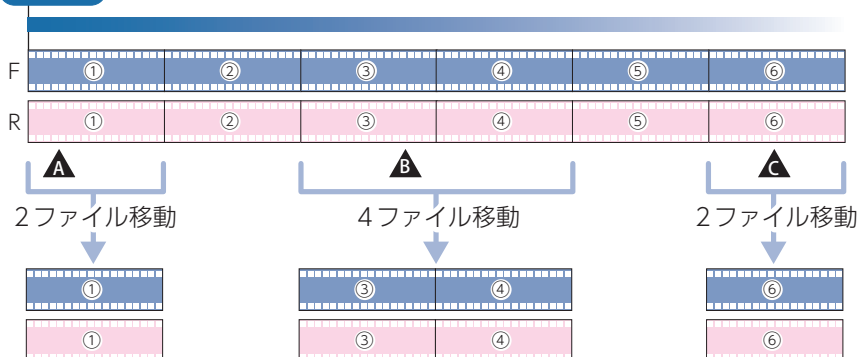
D：イベント発生タイミングが ⑨ の「0～15秒未満」の場合

E：イベント発生タイミングが録画終了前 ⑫ の「16～30秒未満」の場合

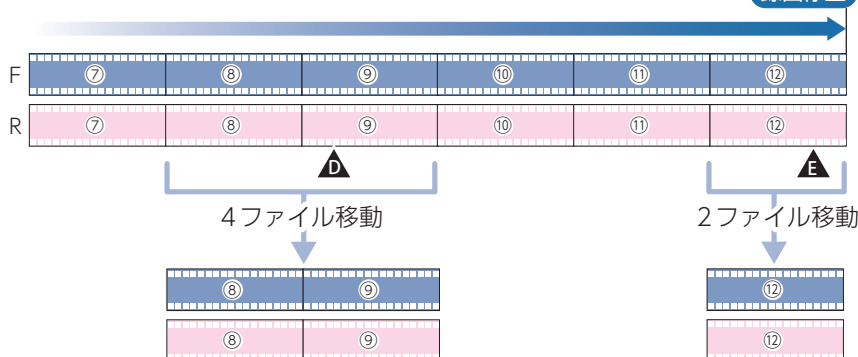
F：フロントカメラ

R：リアカメラ

録画開始



録画停止



- ・スマートフォンにイベント記録を自動保存することができます。詳細は ● P.97 を参照ください。
- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれ古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(● P.25「上書きモードについて」)
- ・本機に異常などがあった場合は、映像を記録することはできません。(● P.111「こんなときは」)

1. 常時録画

車両始動 (ACC ON) から車両停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。録画開始時に『録画を開始します』の音声と『ピッ』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプ(赤)が点灯します。

※音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(● P.62、95)

・録画ファイル構成

初期値(● P.36)で、1ファイルあたり約30秒で生成します。

・録画可能時間

初期値(● P.36)で、付属のSDカード(32GB)に約80分の常時録画が可能です。解像度/フレームレート/SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(● P.119)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、80分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.25)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピッ』と音が鳴り、電源ランプ(赤)が遅点滅します。

※音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(● P.62、95)

⚠ 注意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわりなく行うことはできません。(● P.25[上書きモードについて])

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※ イベント発生のタイミングによって移動するファイル数は異なります。(● P.22)

・最大記録件数

付属のSDカード(32GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて60件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(● P.119)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[すべて上書き]のため、イベント記録件数がそれぞれ30件以降も古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(● P.25)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※初期値では「Gセンサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。
(☛ P.60、94)

・ Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.0G」となります。(☛ P.60、95)

一定以上の衝撃を検知



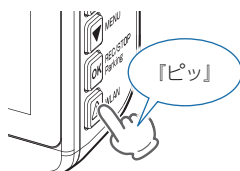
「ピッ」



■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に  ボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。

 ボタンを押す



⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.61、95)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
すべて上書き (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

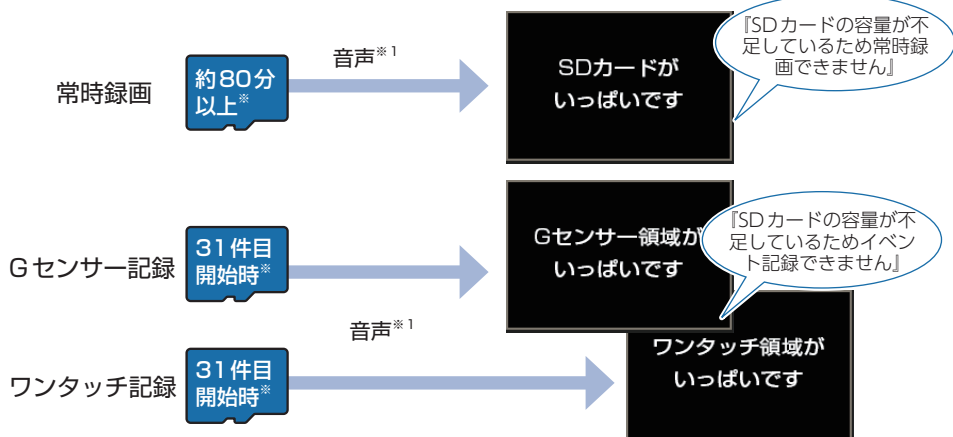
※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

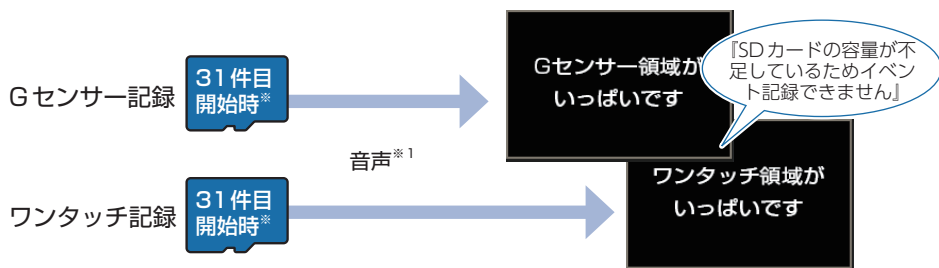
例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず記録を行うことはできません。



■ 常時録画上書き

常時録画はSDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。



■ すべて上書き(初期値)

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※1：音量[OFF]に設定している場合、音声/音によるお知らせはしません。(P.62、95)

※2：解像度/フレームレート/SDカードの容量によって時間/件数は異なります。(P.119)

駐車記録について

本機は駐車記録（車両停止（ACC OFF）状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと）用に「タイムラプスモード」「動体検知モード」の2つのモードがあります。必要に応じてご使用ください。

※駐車記録には別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）、または駐車監視用 電源直結コード（OP-VMU5L）が必要です。

1. タイムラプスモード

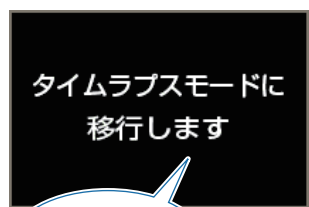
駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモードがあります。

※タイムラプスモード中は、フレームレートが「1コマ/秒（1 FPS）」に固定されます。そのため14分または7分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。

※1ファイルの記録時間はフレームレートで設定したフレームレートが反映されます。（28 FPS：14分、14 FPS：7分）

※タイムラプスモード中はGPS/音声データは記録されないためGPSアイコンは非表示になります。

タイムラプスモード中の動作 ※1：画面自動オフの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。



『録画を停止します』
『タイムラプスモードを開始します』

『タイムラプスモードを開始します』とお知らせし約5秒間、上記のメッセージを表示し録画を開始します。

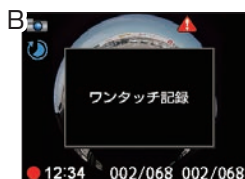


自動で画面OFFし録画を継続します

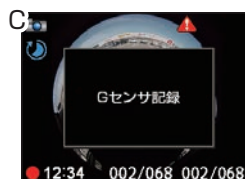
- A：[△]ボタン以外を押す
B：[△]ボタンを押す
C：衝撃を検知



画面ONします。



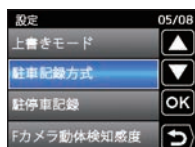
ワンタッチ記録を開始します。



Gセンサー記録を開始します。

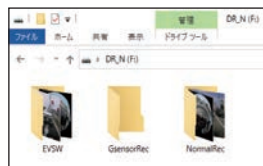
あらかじめ駐車記録方式を[タイムラプス]にする必要があります。設定メニューの[駐車記録方式]で確認してください。

※初期値は[タイムラプス]です。



タイムラプスモード中の映像について…

タイムラプスモード中の映像は、通常の録画ファイルと同様に常時録画は「NormalRec」フォルダ、Gセンサー記録は「GsensorRec」フォルダ、ワンタッチ記録は「EVSW」に記録されます。



2. 動体検知モード

駐車中の長時間録画に対応するため、フロント/リアカメラの映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に記録を行う動体検知モードがあります。

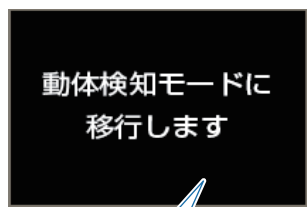
※動体検知で記録した録画ファイルの構成は、常時録画と同様になります。(P.24)

※映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

※動体検知の感度は変更できます。(P.61、95)

動体検知モード中の動作

※1：画面自動オフの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。



『録画を停止します』
『動体検知モードを開始します』

『動体検知モードを開始します』とお知らせし約5秒間、上記のメッセージを表示し録画を開始します。

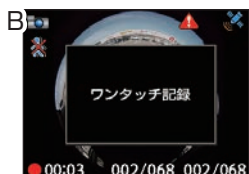


自動で画面OFFし、待機状態になります。(動体検知待機)

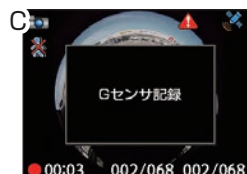
- A：△ボタン以外を押す
- B：△ボタンを押す
- C：衝撃を検知
- D：動体を検知



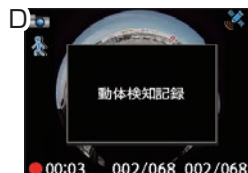
画面ONします。



ワンタッチ記録を開始します。



Gセンサー記録を開始します。

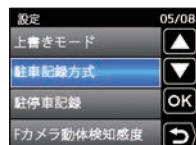


動体検知記録を開始します。

※動体検知を短時間で複数回検知した場合は無効(🚫)になります。また、一定時間検知しなくなった場合は自動で有効(👤)になります。

あらかじめ駐車記録方式を[動体検知]にする必要があります。
設定メニューの[駐車記録方式]で確認してください。

※初期値は[タイムラプス]です。



動体を検知すると…

右記画面を数秒表示し、動体検知記録を開始します。
終了後は自動で録画を停止します。

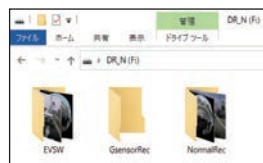
『録画を開始します』
♪『ピロロン』

『ピッ』



動体検知モード中の映像について…

動体検知モード中の映像は、動体検知は「NormalRec」フォルダ、Gセンサー記録は「GsensorRec」フォルダ、ワンタッチ記録は「EVSW」に記録されます。



3. 駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)への切替方法

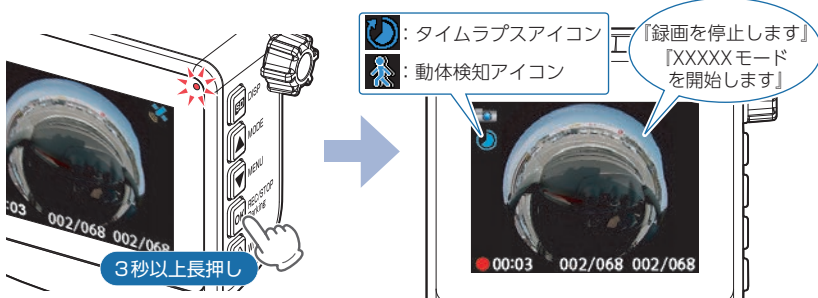
駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へは、手動または自動で切り替えることができます。

- | | |
|--|--------|
| A : 手動切替 | ☛ 下記参照 |
| B : 自動切替(駐停車記録) | ☛ P.31 |
| C : 自動切替(駐車監視用 電源直結コード : OP-VMU5L) ^{※1} | ☛ P.32 |

※1 : 別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)が必要です。

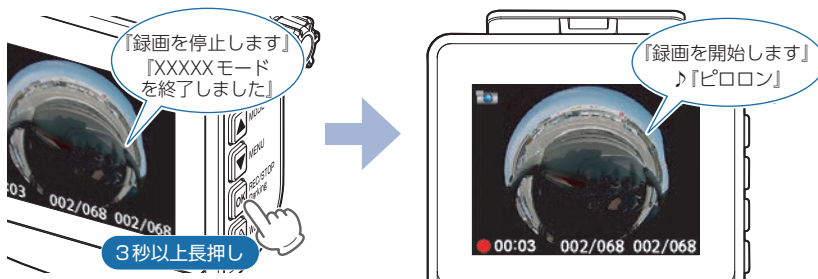
■ A : 手動切替

A-1 録画中に **OK** ボタンを3秒以上長押しする



駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で録画を開始します。

A-2 終了する場合は再度、**OK** ボタンを3秒以上長押しする



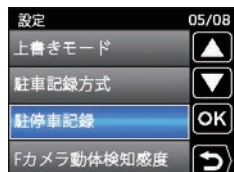
駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)を終了し、自動で録画を開始します。

※画面OFFの場合、いずれかのボタンを押して画面ONしてから行ってください。

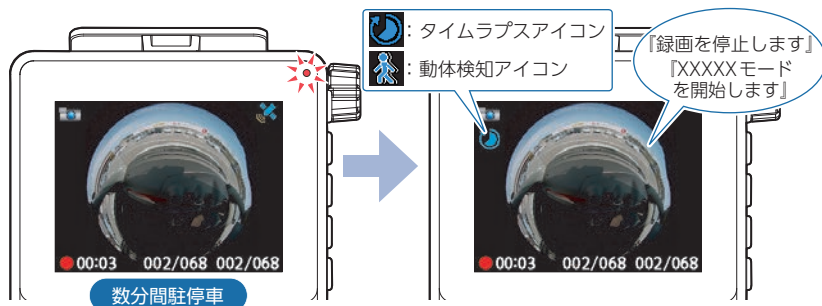
■ B：自動切替(駐停車記録)

あらかじめ駐停車記録をOFF以外に設定する必要があります。
設定メニューの[駐停車記録]で確認してください。

※初期値は[OFF]です。



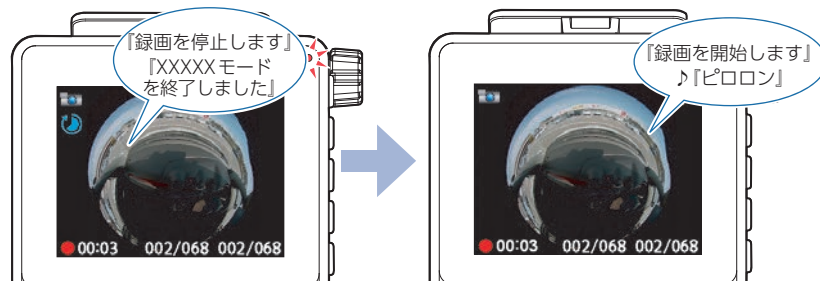
B-1 録画中に車両を数分間、駐停車する



駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で録画を開始します。

※ 移行しない場合は、駐停車記録の設定で[HIGH]を選択してください。(P.61、95)

B-2 本体が振動を検知する

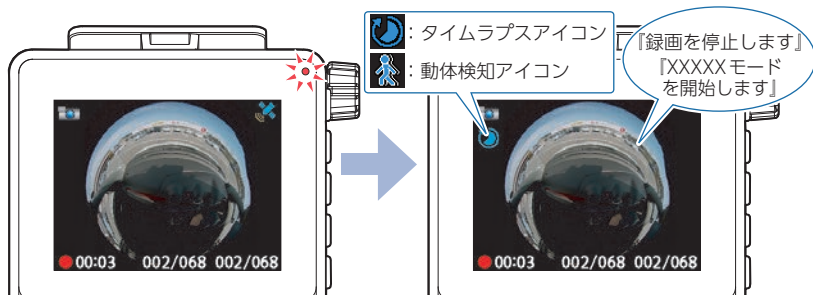


駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)を終了し、自動で録画を開始します。

※ **OK** ボタンを3秒以上長押しでも駐車記録モードを終了できます。

■ C : 自動切替(駐車監視用 電源直結コード : OP-VMU5L)

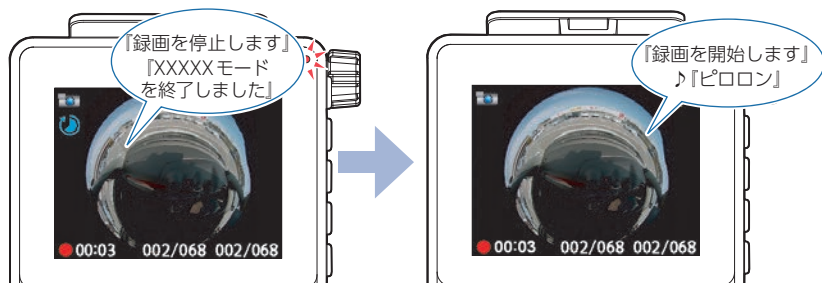
C-1 車両を停止(ACC OFF)する



別売品(OP-VMU5L)から電源供給し、駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で駐車記録を開始します。

※別売品(OP-VMU5L)の設定によっては電源OFFします。

C-2 車両を始動(ACC ON)する



駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)を終了し、自動で録画を開始します。

※**OK** ボタンを3秒以上長押しでも駐車記録モードを終了できます。

4. 履歴表示

駐車記録モード (タイムラプス / 動体検知) 中にイベント記録があった場合、次回起動時に『録画を開始します』の後に『タイムラプスモード / 動体検知モード中にイベント記録が発生しました』とお知らせします。

※ 駐車記録モード移行後、30秒間はドアの開閉による衝撃などが発生するため、その間のイベント記録は履歴にカウントされません。

※ 上書き禁止で、駐車記録モード中にフォルダが上限に達した場合、メッセージと音声の後、一時停止状態になります。この場合の履歴表示は、ボタンを押した時に『タイムラプスモード / 動体検知モード中にイベント記録が発生しました』とお知らせし数秒表示します。また、上限に達した状態で電源がOFFした場合は、電源ON後、『録画を開始します』の後に『タイムラプスモード / 動体検知モード中にイベント記録が発生しました』とお知らせし履歴表示を数秒表示します。

タイムラプスモード中に
イベント記録が
発生しました

動体検知モード中に
イベント記録が
発生しました

駐車監視機能について

駐車中の異常のお知らせやライブ映像の確認、威嚇操作を行うことができます。

※無線LAN/Bluetoothの接続が必要になります。(P.63、73)

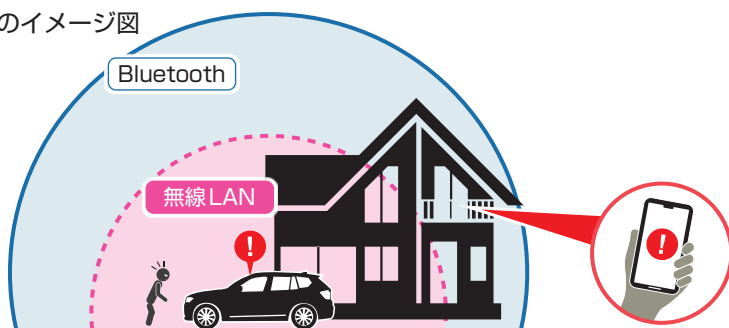
※駐車中において本機能の使用には別売オプション(OP-MB4000/OP-VMU5L)が必要です。

※本機能の通信範囲は戸建てに隣接する平置き駐車場での使用を想定しています。

※鉄筋コンクリートやシャッター、雨戸、大理石などは使用する無線電波の反射・減衰が起こる場合があります。また、電波を用いる電化製品などでは電波干渉が起こる場合があります。そのため周辺環境により通信距離が短くなったり通信できない場合があります。

※5G対応のスマートフォンは、周辺環境等の状況によってはモバイルデータ通信をOFFにしないと接続できない場合があります。

■ エリア範囲のイメージ図



1. スマートフォン通知

Bluetooth

本機がイベント記録などの異常を検知すると、お使いのスマートフォンにプッシュ通知でお知らせします。(P.63)

2. ライブ映像

無線LAN

スマートフォンから本機のライブ映像が見られます。プッシュ通知があった場合などに、離れた場所から愛車や周囲の様子を確認できます。(P.77)

3. LCDフラッシュ&サイレン

無線LAN

アプリを操作して画面点滅とサイレンで威嚇できます。(P.81)

メンテナンスについて

■ 必要に応じてのメンテナンス

・ 付属の電源直結コードのヒューズ交換

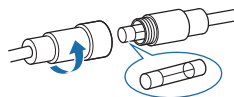
※ 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 電源コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・ 別売品のヒューズ交換

※ マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

※ 駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5L) : 交換用ヒューズ 3A (20mm × 5.2mm) × 2

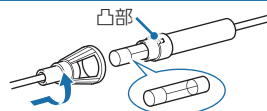
接続状態で車両始動 (ACC ON) しても電源 ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

< OP-MB4000 >

ヒューズホルダー先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

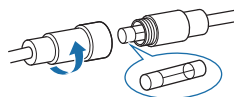
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



< OP-VMU5L >

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

DR : 本機

APP : 専用アプリ

設定項目		初期値	説 明
フレームレート	DR APP	28 FPS	28 コマ / 秒で録画します。
リアカメラ解像度	DR APP	1080P	リアカメラの映像を 1080P(1920 × 1080) の解像度で記録します。 ※ フロントカメラの解像度は魚眼(1856 × 1856)、2分割(2048 × 1536)になります。
音声録音	DR APP	ON	動画と同時に音声も録音します。
常時録画 G センサ記録	DR APP	ON	常時録画 / 駐車記録モード(タイムラプス / 動体検知)時に G センサー記録を行います。 (P.25)
駐車記録 G センサ記録	DR APP	ON	
常時録画 G センサ感度	DR APP	X : 1.0G Y : 1.0G Z : 1.0G	常時録画時の G センサー感度を「1.0G」で設定しています。
駐車記録 G センサ感度	DR APP	X : 0.5G Y : 0.5G Z : 0.5G	駐車記録モード(タイムラプス / 動体検知)時の G センサー感度を「0.5G」で設定しています。
無線 LAN 自動起動	DR APP	OFF	本体起動時に無線 LAN を自動で起動しません。
駐車無線 LAN 継続	DR APP	OFF	駐車記録モード(タイムラプス / 動体検知)時に、無線 LAN 接続を解除します。
駐車記録 Bluetooth	DR	OFF	駐車記録モード(タイムラプス / 動体検知)時に、Bluetooth を起動しません。
スマホ G センサ記録	DR APP	OFF	各イベント記録時にスマートフォンへ映像を自動保存しません。
スマホ ワンタッチ記録	DR APP	OFF	
スマホ駐車 G センサ記録	DR APP	OFF	
スマホ駐車 ワンタッチ記録	DR APP	OFF	
スマホ駐車 動体検知記録	DR APP	OFF	
圏外通知	APP	OFF	Bluetooth 通信エリアの圏外 / 圏内をスマートフォンにプッシュ通知しません。
圏内通知	APP	OFF	

DR : 本機

APP : 専用アプリ

設定項目		初期値	説 明
上書きモード	DR APP	全て上書き	SDカードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (P.25「上書きモードについて」)
駐車記録方式	DR APP	タイムラプス	駐車記録モードをタイムラプスに設定しています。
駐車車記録	DR APP	OFF	駐車車時も通常の録画を行います。
Fカメラ 動体検知感度	DR APP	LOW	フロントカメラの動体検知感度を[LOW]に設定しています。
Rカメラ 動体検知感度	DR APP	LOW	リアカメラの動体検知感度を[LOW]に設定しています。
警報機能	DR APP	OFF	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)でイベント記録が発生した場合に、LCDフラッシュしません。
映像記録方式	DR APP	魚眼	録画した映像そのままで記録します。
リアカメラ /リアカメラ鏡像	DR APP	正像/OFF	リアカメラの映像を正像(OFF)で記録します。
音量 /スピーカー音量	DR APP	60%	本機の音量を60%に設定しています。 ※ 音量は、音声によるお知らせ、常時録画/イベント記録開始時の音に反映されます。 ※ 音量を個別に設定することはできません。
画面自動オフ	DR	30秒	動画記録モード時に30秒間無操作で画面OFFします。
カメラ映像 表示時間	APP	1分	ライブ映像表示時間を1分に設定しています。
省電力画面 移行時間	APP	30秒	スマートフォンの省電力画面移行時間を30秒に設定しています。
無線LAN パスワード	APP	1234567890	初回の無線LAN接続時に入力します。
自動接続 (カメラの自動接続)	APP	OFF	アプリ起動時、ドライブレコーダーと自動接続しません。

※ 初期値を変更する場合は、 P.60、93を参照ください。

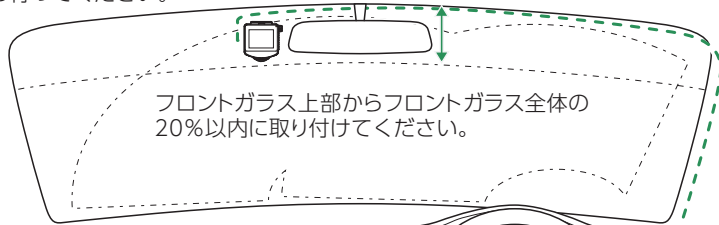
本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置が確認してから行ってください。



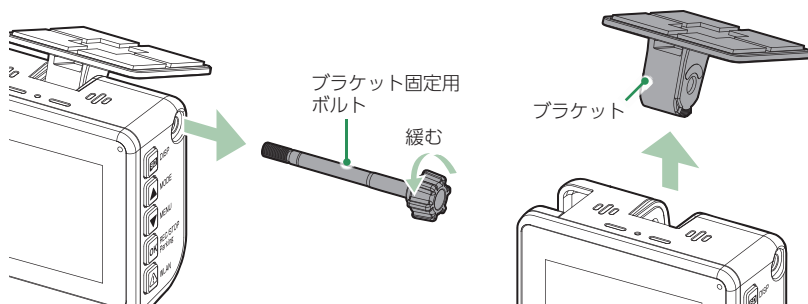
■ リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

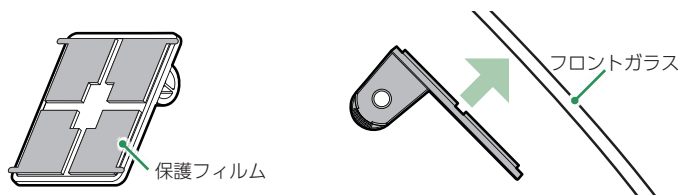
1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。
※ご購入時はレンズキャップが取り付けられています。ご使用時に取り外してください。

1-1 フロントカメラユニットからブラケット固定用ボルトとフロントカメラ用ブラケットを取り外す



1-2 フロントカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける



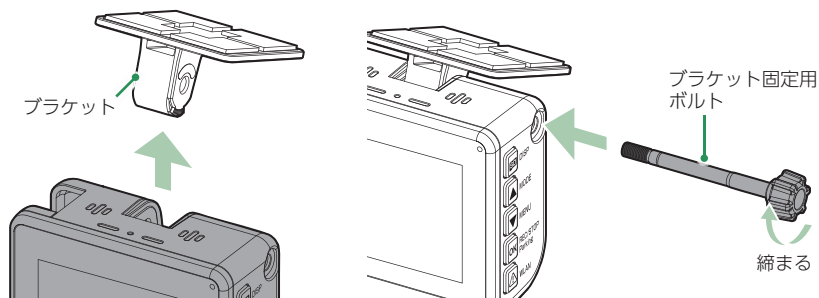
ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかりと貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

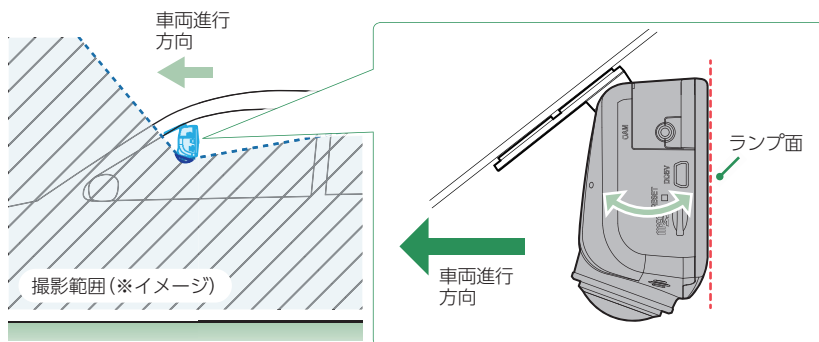
1-3

フロントカメラ用ブラケットにフロントカメラユニットを合わせ、ブラケット固定用ボルトで軽く固定する



1-4

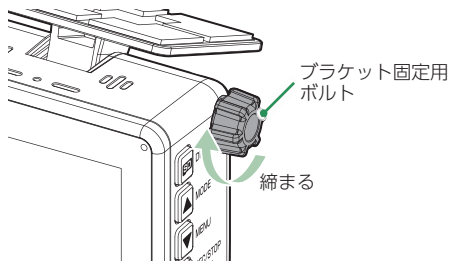
ランプ面が地面と垂直になるように調整する



※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

1-5

ブラケット固定用ボルトを締めて固定する



位置がずれないように本体を押さえながらボルトを締めてください。

※ボルトを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットに無理な力が加わり、破損することがあります。ボルトを緩めてから調整してください。

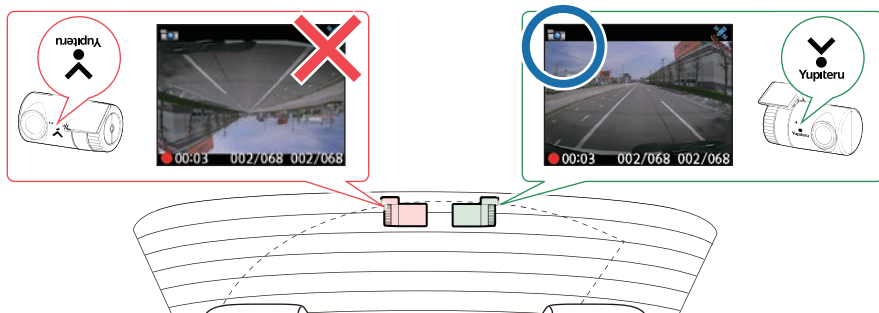
2. リアカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、ガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

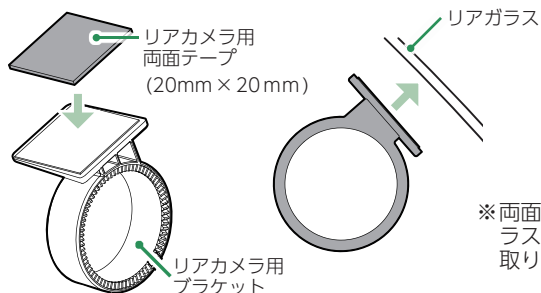
※リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご使用ください。

⚠ 注意

付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。



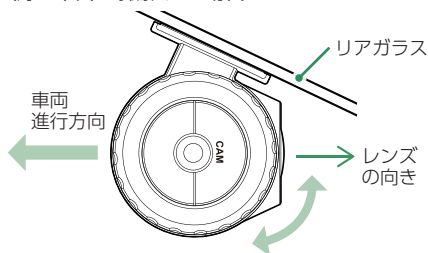
2-1 リアカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



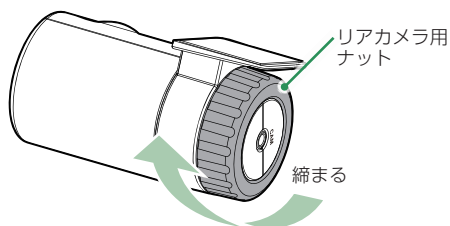
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

2-2 リアカメラ用ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合



2-3 リアカメラ用ナットを締めて固定する



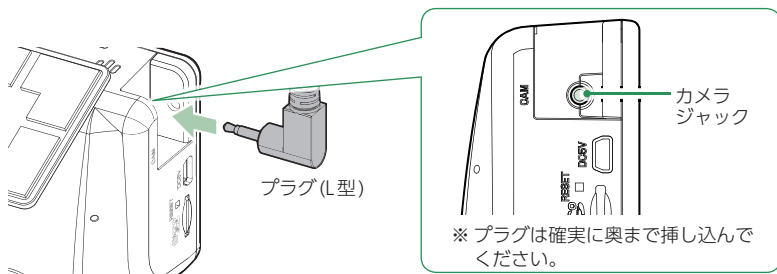
※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

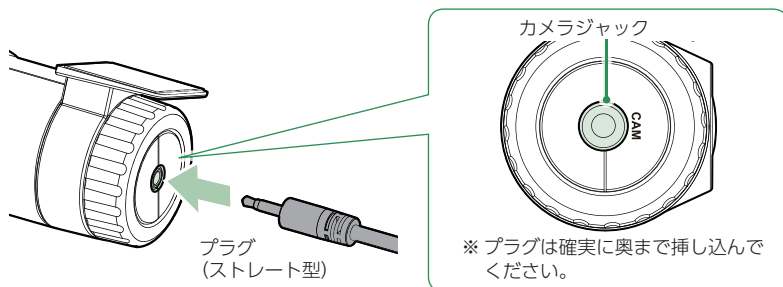


付属のリアカメラケーブルをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

※フロントカメラユニットにはプラグ(L型)をご使用ください。プラグ(ストレート型)を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線の恐れがあります。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品の結束バンドなどを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

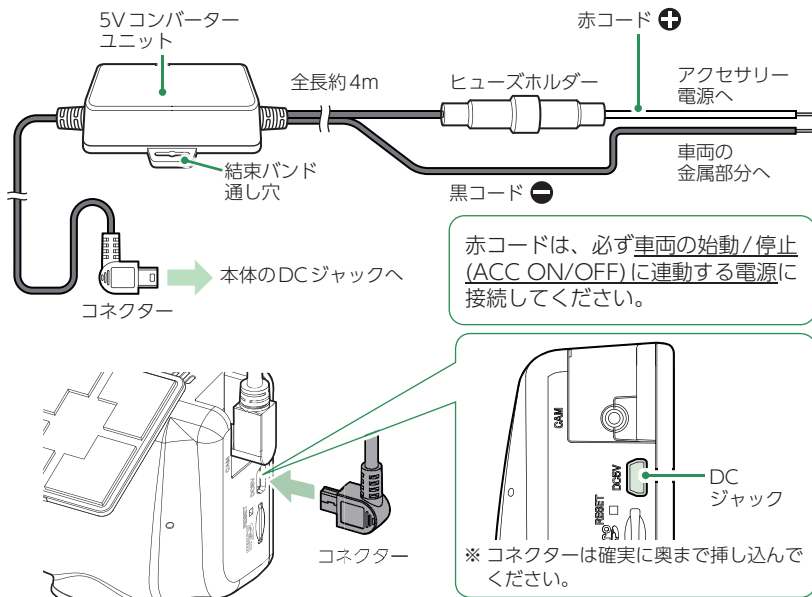
付属の電源コードを接続します。

※別売品で接続する場合は（▶ P.45）を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

4-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

※ 付属の電源直結コードをご使用ください。

※ 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。

※ 電源はDC12V (マイナスアース) 車専用です。24V車ではご使用いただけません。

※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。

誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。

うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-2 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

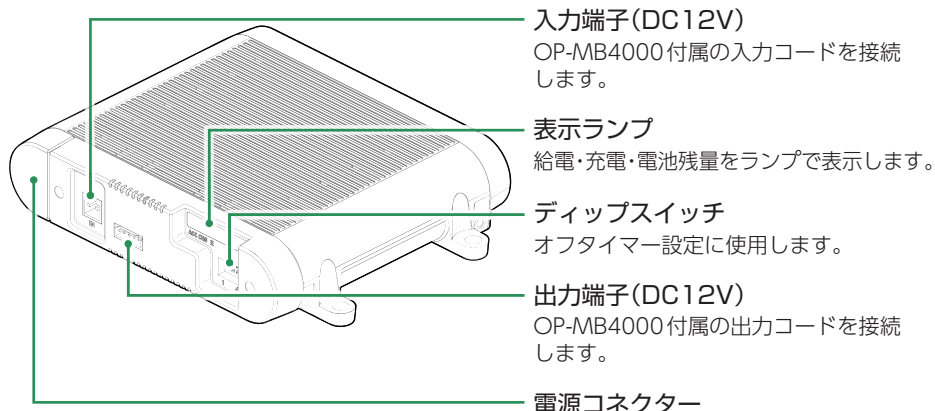
別売品の取り付け

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

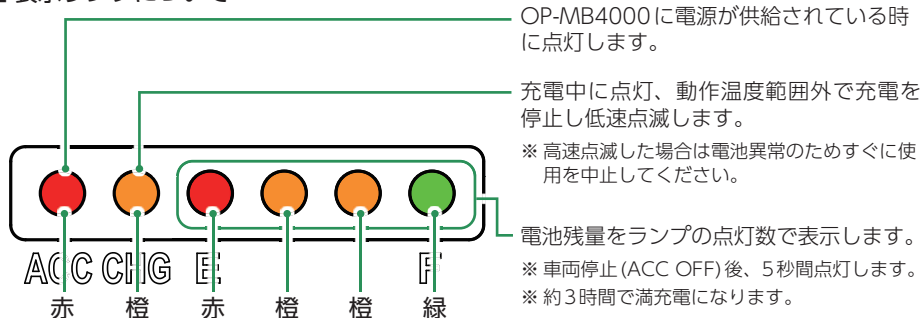
⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。

■ OP-MB4000



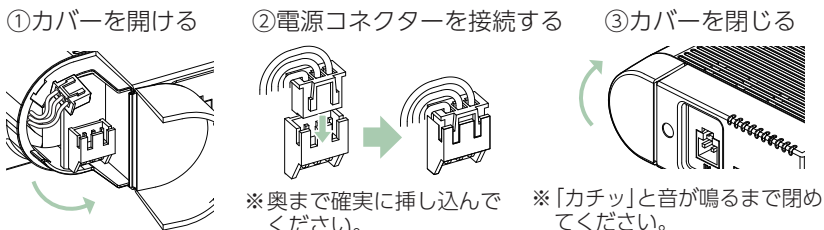
■ 表示ランプについて



■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ OP-MB4000 付属出力コード
④ 電源直結コード(ドライブレコーダー付属) ⑤ 市販品接続端子(ギボシ端子など)

1-1 電源コネクタを接続する



1-2 オフタイマー設定をする

車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000の内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

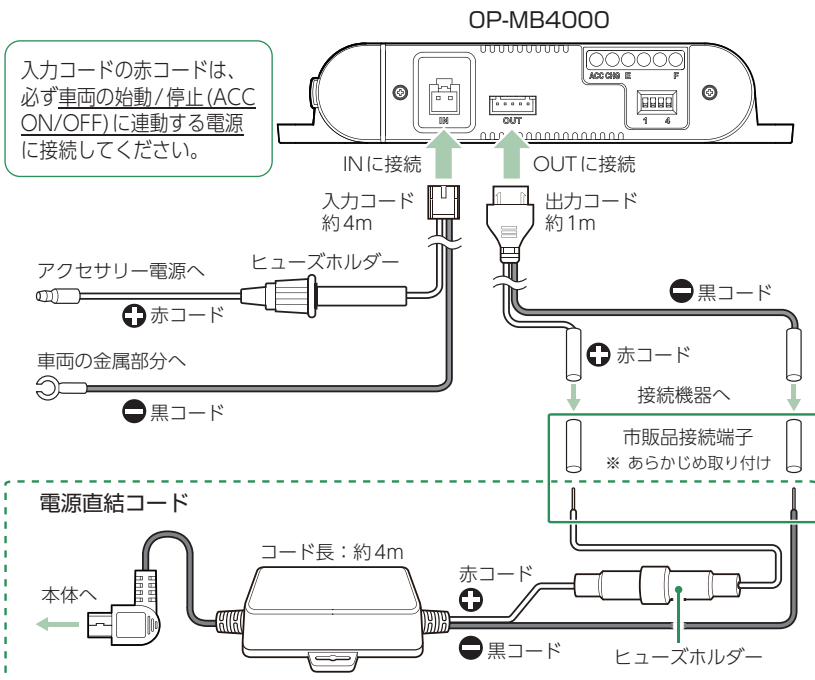
■ オフタイマー設定



⚠ 注意

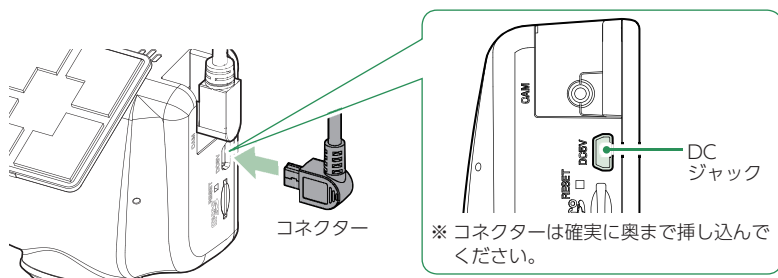
- ・オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000の内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。
- ・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-3 OP-MB4000 を車両に接続する



すべてに使用

1-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。
 ※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。

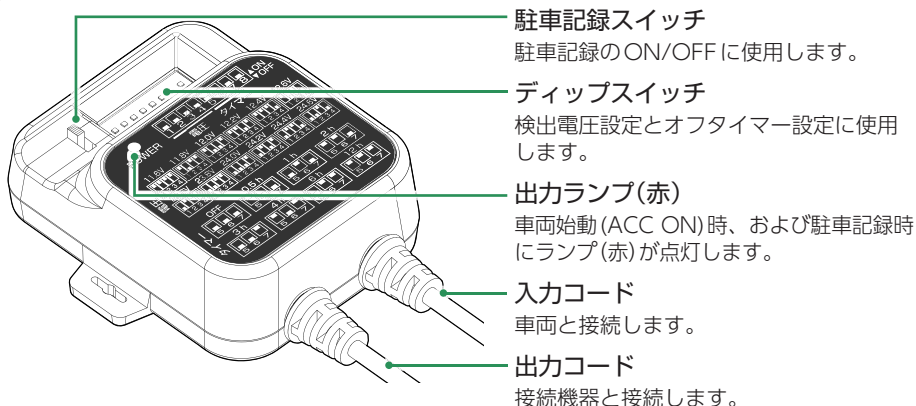
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)の接続方法

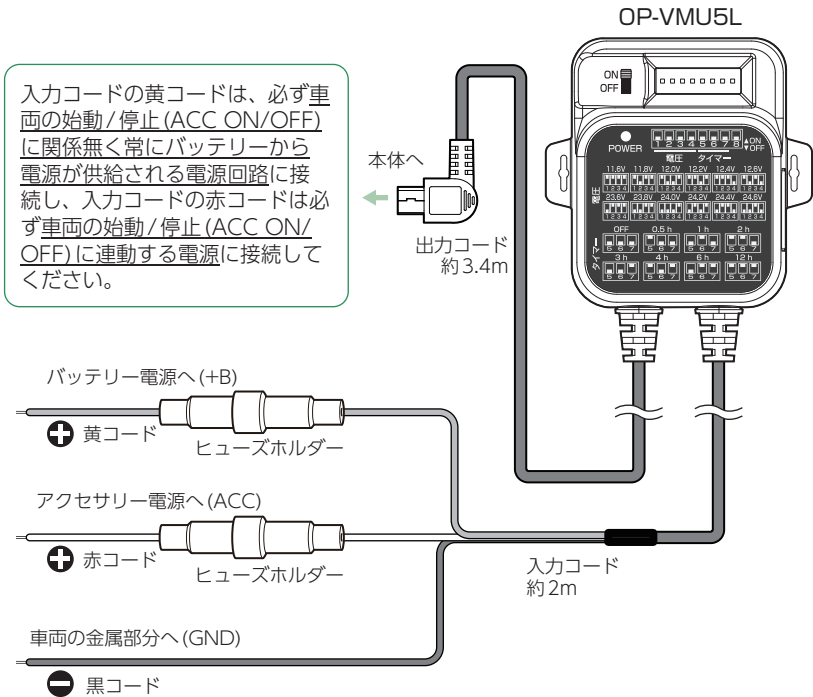
⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
 - ・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
 - ・2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がり の原因となります。
- ※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。
 - ・車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上 走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

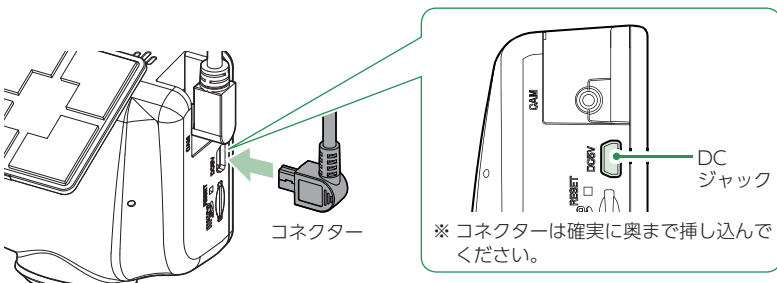
■ OP-VMU5L



2-1 OP-VMU5Lを車両に接続する



2-2 出力コードを接続する



出力コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※出力コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない時は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

車両停止 (ACC OFF) 後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止 (ACC OFF) 後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

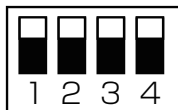
※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。

ディップスイッチ

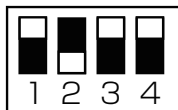


初期値 (★) : 1,3,5,8 ON
2,4,6,7 OFF

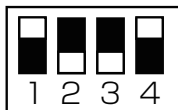
■ 検出電圧設定 (1～4 使用) 12V車



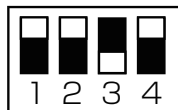
11.6V



11.8V



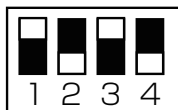
12.0V



12.2V



12.4V

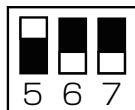


12.6V (★)

■ オフタイマー設定 (5～7 使用)



OFF
(0時間)



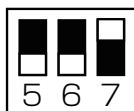
0.5時間 (★)



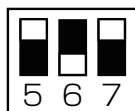
1時間



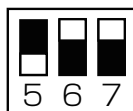
2時間



3時間



4時間



6時間

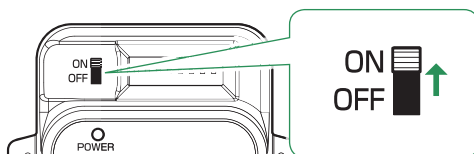


12時間

⚠ 注意

- ・ディップスイッチの[8]は使用しません。初期値 (ON) のまま変更しないでください。
- ・オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- ・オフタイマー設定を「使用しない (0 時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 駐車記録スイッチを ON にする



2-5 OP-VMU5L 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動
(ACC ON)

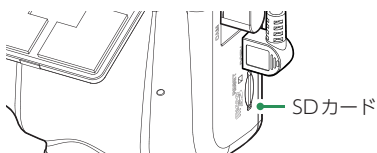


※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

本機は、車両の始動 (ACC ON) に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
- ➡ P.20 [SDカードの取り外し/装着]

1-2 車両を始動 (ACC ON) する



ランプの状態	本体の動作
赤点灯	常時録画中
赤遅点滅	イベント記録中
赤早点滅	エラー時
緑点灯	録画以外の動作
消灯	電源 OFF

録画を開始します。

電源ランプ (赤) が点灯し、記録時間を表示します。

GPS を測位すると アイコンを表示し、GPS 情報を取得します。

※GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※GPS の測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

※エラーメッセージを表示した場合は ➡ P.111 を参照ください。

・録画開始までの時間について

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードのチェック機能について

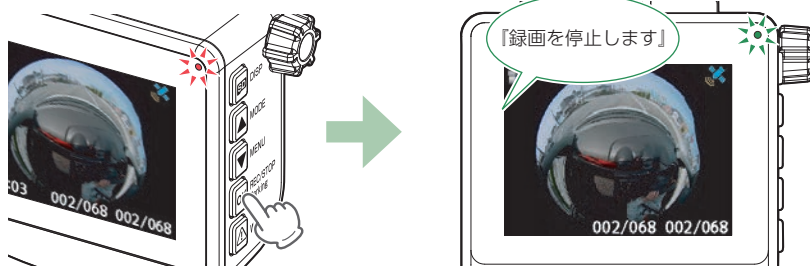
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(P.111)

・GPS測位について

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を一時停止する

2-1 録画中に **OK** ボタンを押す

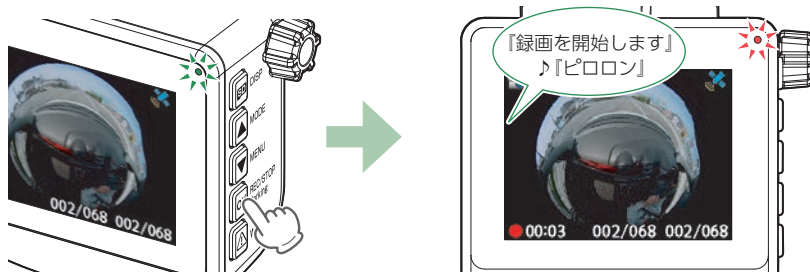


録画を一時停止します。

電源ランプ(緑)が点灯し、記録時間が非表示になります。

3. 録画を再開する

3-1 一時停止中に **OK** ボタンを押す

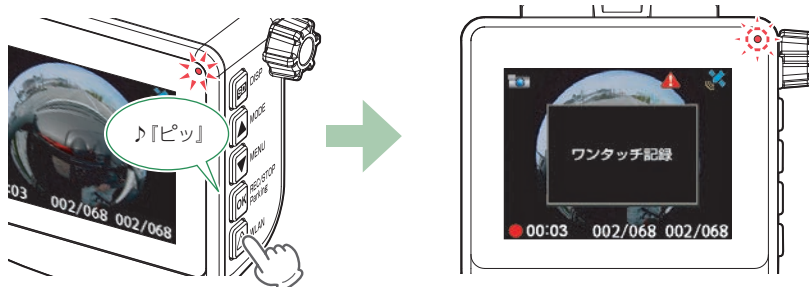


録画を再開します。

設定メニューの場合は P.59、再生モードの場合は P.68 を参照ください。

4. ワンタッチ記録をする

4-1 常時録画中に [!] ボタンを押す



電源ランプ(赤)が遅点減し、アイコンを表示します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画を開始します。

※ワンタッチ記録の詳細は、 P.24を参照ください。

5. 音声録音をON/OFFする

※設定メニューからも変更できます。(P.60「音声録音」)

5-1 録画中に [▲] ボタンを3秒以上長押しする



[▲] ボタンを3秒以上長押しするたびに、音声録音のON/OFFが切り替わります。

6. 画面表示を切り替える

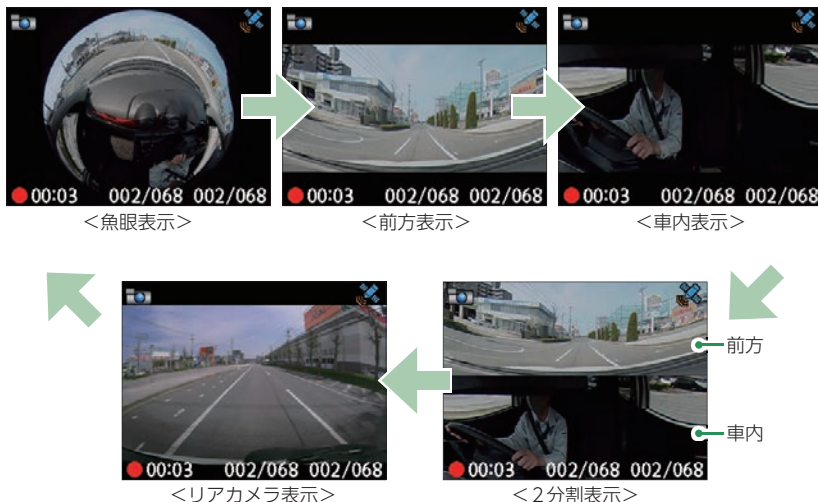
※リアカメラの映像は正像/鏡像で切り替えることができます。(P.61、95)

※画面表示を切り替えても、フロントカメラでは全周囲を記録します。

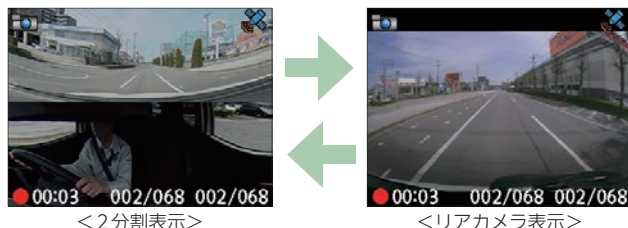
※映像記録方式により切り替えられる画面は異なります。

6-1 動画記録モードで ボタンを押す

映像記録方式[魚眼]



映像記録方式[2分割]



 ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

すべてに使う

7. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、車両の停止 (ACC OFF) に連動して録画を停止します。

7-1 車両を停止 (ACC OFF) する

録画が停止し、電源OFFになります。

撮影した映像は「専用アプリ」「専用ソフト」「パソコン」から確認することができます。

- ・専用アプリ 🖱️ P.73「専用アプリについて」
- ・専用ソフト 🖱️ P.101「専用ビューアソフトで再生する」
- ・パソコン 🖱️ P.107「録画ファイルの読み出しについて」

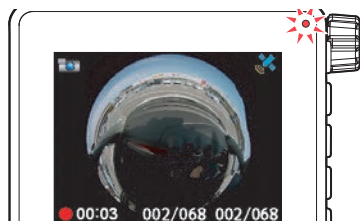
駐車記録用に別売品を接続している場合は下記ページを参照ください。

- A：別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) 🖱️ P.57
- B：別売品の駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5L) 接続時 🖱️ P.58

A：別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) 接続時

※ 駐停車記録を設定することで、駐停車時に自動で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)に切り替えることもできます。(☛ P.31)

A-1 車両を停止(ACC OFF)する



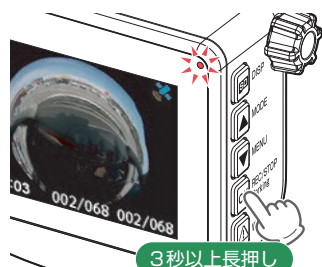
・駐車記録とは…

車両停止(ACC OFF)状態で別売品により駐車中に記録を行うこと。

別売品(OP-MB4000)から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。

※ 別売品(OP-MB4000)の設定によっては電源OFFします。

A-2 OK ボタンを3秒以上長押しする



タイムラプスモード(☛ P.27)

動体検知モード(☛ P.28)

駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で駐車記録を開始します。

A-3 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-MB4000)からの電源供給が継続している場合、録画を駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で継続して行います。

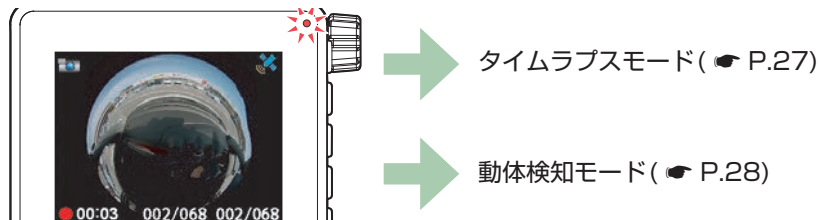
OK ボタンを3秒以上長押しして終了してください。

※ 別売品(OP-MB4000)からの電源供給が停止している場合、通常の録画を開始します。

B：別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L) 接続時

※ 駐車記録を設定することで、駐車時に自動で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)に切り替えることもできます。(☛ P.31)

B-1 車両を停止 (ACC OFF) する



別売品 (OP-VMU5L) から電源供給し、自動で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へ移行して駐車記録を開始します。

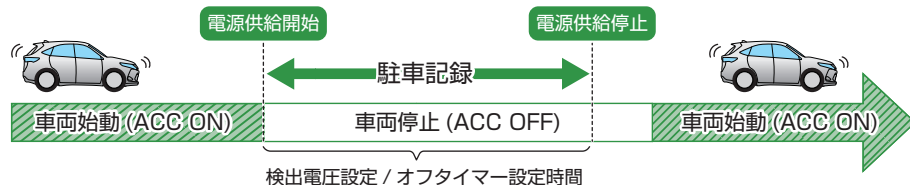
※ 別売品 (OP-VMU5L) の設定によっては電源 OFF します。

B-2 車両を始動 (ACC ON) する

別売品 (OP-VMU5L) からの電源供給が継続している場合、駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)から通常録画に切り替わり継続して録画を行います。

※ 別売品 (OP-VMU5L) からの電源供給が停止している場合も通常の録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(☛ P.46、50)

※ マルチバッテリー (OP-MB4000) はオフタイマー設定のみになります

※ 強制的に駐車記録を停止する場合は、フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外してください。(☛ P.13)

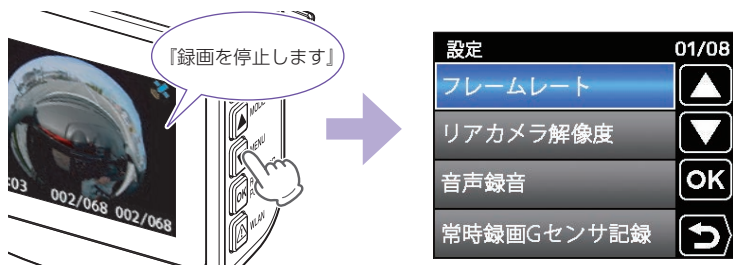
設定メニューの表示方法

※駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)中は、設定や再生を行うことはできません。OK ボタンを3秒以上長押しして駐車記録モードを終了してから行ってください。

※無線LAN接続中に設定メニュー/再生モードを表示する場合、無線LAN接続は解除されます。

1. 設定メニューを表示する

1-1 動画記録モードで▼ボタンを押す

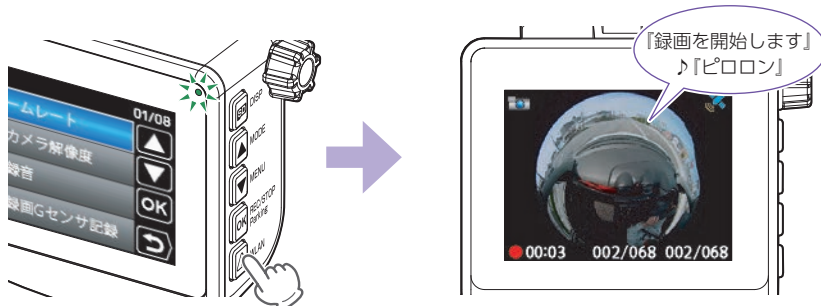


録画を停止し、設定メニューを表示します。

カスタマイズ
して使う

2. 録画を再開する

2-1 設定メニューで▲ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は P.59 を参照ください。

設定	01/08
フレームレート	▲
リアカメラ解像度	▼
音声録音	OK
常時録画Gセンサー記録	→

<設定メニュー 1/8>

設定	02/08
駐車記録Gセンサー記録	▲
常時録画Gセンサー感度	▼
駐車記録Gセンサー感度	OK
無線LAN自動起動	→

<設定メニュー 2/8>

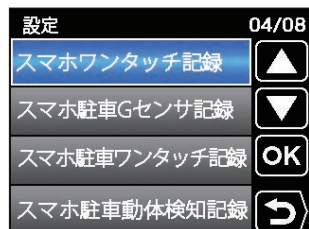
設定	03/08
駐車無線LAN継続	▲
駐車記録Bluetooth	▼
Bluetoothペアリング	OK
スマホGセンサー記録	→

<設定メニュー 3/8>

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
フレームレート※ ¹	28 FPS(★)/14 FPS	フレームレート(録画コマ数)を選択します。 28 FPS : 1秒あたり28コマで録画します。 14 FPS : 1秒あたり14コマで録画します。
リアカメラ解像度※ ¹	1080P(★)/720P	リアカメラの解像度を選択します。 1080 : 1920×1080、720 : 1280×720
音声録音	OFF/ON(★)	動画と同時に音声を録音するかON/OFFで設定します。
常時録画Gセンサー記録	OFF/ON(★)	常時録画/駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時にGセンサー記録をするかON/OFFで設定します。
駐車記録Gセンサー記録	OFF/ON(★)	
常時録画Gセンサー感度	X : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★) Y : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★) Z : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	各録画方法でのGセンサー感度を設定します。 X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。
無線LAN自動起動	OFF(★)/ON	本機を起動したときに、無線LANを自動で起動するかON/OFFで設定します。
駐車無線LAN継続	OFF(★)/ON	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時に、無線LAN起動状態を継続するかON/OFFで設定します。
駐車記録Bluetooth	OFF(★)/ON	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時に、Bluetoothを使用するかON/OFFで設定します。
Bluetoothペアリング	—	本機をBluetoothペアリング待機中にします。

※1：フレームレート/解像度を変更する場合、フォーマットが必要になります。フォーマットを行うと、録画ファイルが全て(保護ファイル含む)削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。



<設定メニュー 4/8>



<設定メニュー 5/8>



<設定メニュー 6/8>

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
スマホGセンサ記録※2	OFF(★)/ON	各イベント記録時にスマートフォンへ映像を自動保存するかON/OFFで設定します。
スマホワンタッチ記録		
スマホ駐車Gセンサ記録※2		
スマホ駐車ワンタッチ記録		
スマホ駐車動体検知記録		
上書きモード	上書き禁止/常時録画上書き/全て上書き(★)	詳細は P.25 を参照ください。
駐車記録方式	タイムラプス(★)/動体検知	駐車記録モードの方式を選択します。 ※ タイムラプスの詳細は P.27、動体検知の詳細は P.28 を参照ください。
駐停車記録	OFF(★)/LOW/MID/HIGH	Gセンサーが数分間動きがないと判断した場合に、自動で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へ移行する感度を選択します。 ※ 機能しない場合は、[HIGH]を選択してください。
Fカメラ動体検知感度	LOW(★)/MID/HIGH	フロントカメラの動体検知感度を選択します。
Rカメラ動体検知感度	LOW(★)/MID/HIGH	リアカメラの動体検知感度を選択します。
警報機能	OFF(★)/ON	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時にイベント記録が発生した場合、LCDフラッシュを行うかON/OFFで設定します。
映像記録方式	魚眼(★)/2分割	記録映像の方式を選択します。 魚眼：録画した映像そのままで記録します。 2分割：前方と車内の2画面の映像で記録します。
リアカメラ	正像(★)/鏡像	リアカメラで表示、記録する映像を選択します。

※2：スマートフォンにイベント記録を自動保存する場合、スマホGセンサ記録/スマホ駐車記録Gセンサ記録も[ON]にする必要があります。必ず[ON]に設定しているか確認してください。



<設定メニュー 7/8>



<設定メニュー 8/8>

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
日時	—	日付や時刻を設定します。
音量	OFF/20% /40% /60% (★)/80% /100%	本機の音量を選択します。 ※ 音量は操作音、録画開始/停止の音声、イベント記録開始の音、メッセージの音声、録画ファイルの再生音に反映されます。
画面自動オフ	30秒後(★)/3分後 /5分後/常時ON)	動画記録モード時に無操作で画面OFFする時間を選択します。
SD初期化	—	SDカードを初期化(フォーマット)します。 (P.65) ※ 録画ファイルは全て(保護ファイル含む)削除されます。
設定初期化	—	本機をご購入時の状態に戻します。
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

ボタン	機 能	
ボタン	使用しません。	
ボタン	短押し	設定値を選択したり、値を増加します。
ボタン	短押し	設定値を選択したり、値を増加します。
ボタン	短押し	選択項目を決定します。
ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。

Bluetoothペアリング

本機とスマートフォンをBluetoothペアリングすることで、駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)で本機がイベント記録などの異常を検知するとプッシュ通知でお知らせすることができます。

※スマートフォンの動作状況によっては通知が行われないことがあります。また、専用アプリの動作が完全に終了している(バックグラウンドで動作していない)場合は通知が行われません。あらかじめご了承ください。

※Android OSバージョン6.0以降は、ペアリング前にスマートフォンの位置情報を有効(オン)にする必要があります。

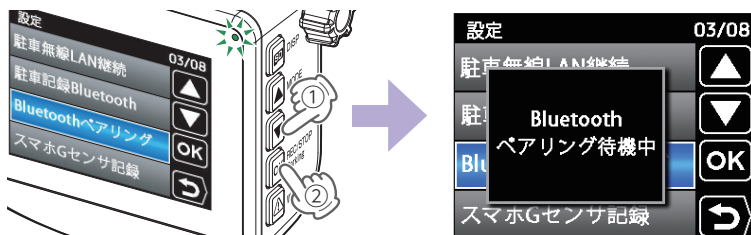
※一度ペアリングを行えば、次回起動時にペアリングの必要はありません。

1. Bluetoothペアリングする

■ iOS 端末の場合

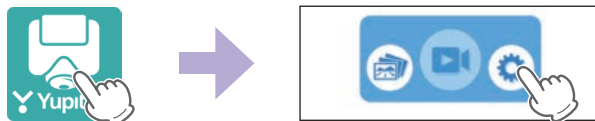
1-1 設定メニューを表示する (☛ P.59)

1-2 [Bluetoothペアリング]を選択し、**OK** ボタンを押す



[Bluetoothペアリング待機中]表示されます。

1-3 専用アプリを起動し、 にタッチする



Android端末の場合、Bluetoothペアリングに専用アプリは使用しません。手順「1-1」～「1-2」を行い、スマートフォンの取扱説明書に沿ってBluetoothペアリングしてください。

1-4 [Bluetoothペアリング]にタッチする



1-5 ペアリングする



ペアリングする端末の[追加]にタッチ



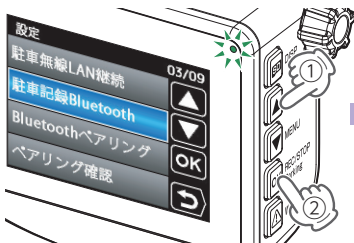
[ペアリング]にタッチ



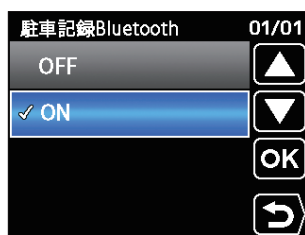
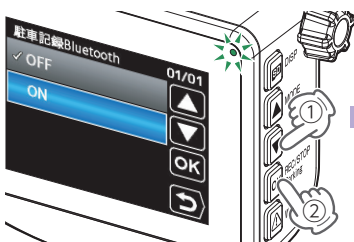
[OK]にタッチ

[ペアリングが完了しました]と数秒表示されます

1-6 [駐車記録 Bluetooth] を選択し、**OK** ボタンを押す



1-7 [ON] を選択し、**OK** ボタンを押す



[ON]で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時に自動でBluetooth接続します。

SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、録画ファイルは全て(保護ファイル含む)削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※専用アプリでもフォーマットを行うことができます。(▶ P.99)

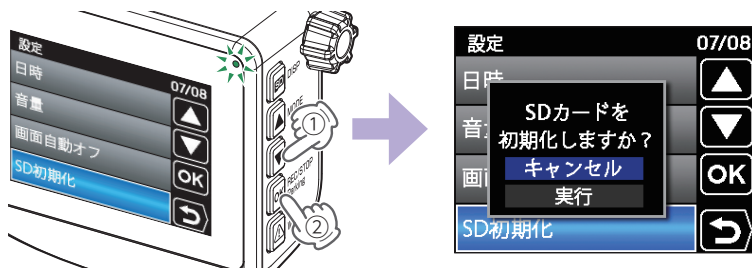
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

1. SDカードをフォーマットする

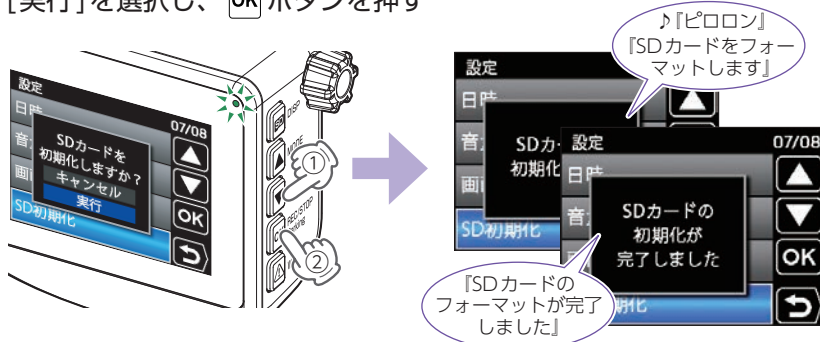
1-1 設定メニューを表示する (▶ P.59)

1-2 [SD初期化]を選択し、OK ボタンを押す



フォーマット画面が表示されます。

1-3 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示し、フォーマットは完了します。完了後は自動的にフォーマット画面が消えます。

再生モードの表示・再生方法

※駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)中は、設定や再生を行うことはできません。OK ボタンを3秒以上長押しして駐車記録モードを終了してから行ってください。

※無線LAN接続中に設定メニュー/再生モードを表示する場合、無線LAN接続は解除されます。

1. 再生モードを表示する

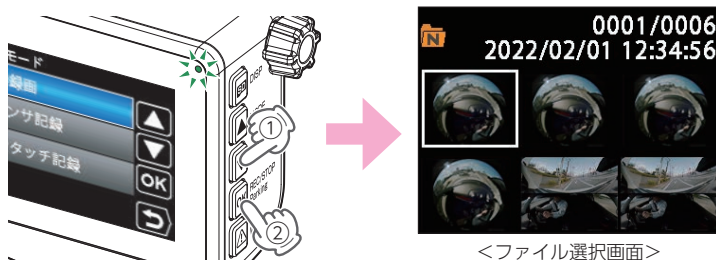
1-1 動画記録モードで ▲ ボタンを押す



録画を停止し、再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

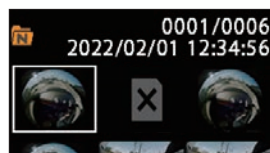
2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 記録方法を選択し、OK ボタンを押す

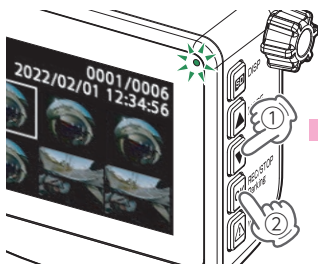


録画を停止し、再生モードのファイル選択画面を表示します。

再生できないファイルがある場合、ファイル選択画面に  を表示します。



2-2 録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す

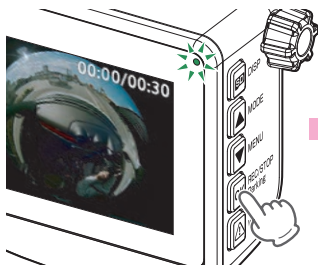


<再生画面>

ファイル再生画面を表示します。

※ [OK] ボタンを押すことで画面表示を切り替えることができます。(P.70)

2-3 OK ボタンを押す



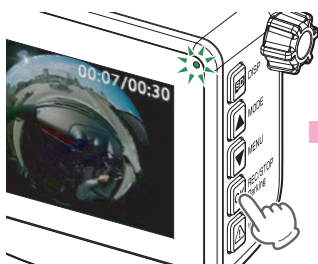
録画ファイルを再生します。

録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。

※ 音量が [OFF/ミュート] の場合は、音声は鳴りません。

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する (表示メニューを表示する)

3-1 再生中に OK ボタンを押す



再生を一時停止し、操作メニューを表示します。

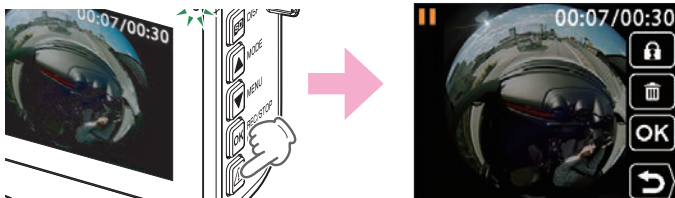
再生を再開する場合は、もう一度 [OK] ボタンを押してください。

※ 一時停止中に [OK] ボタンを押しても再生を再開できます。

4. 録画を再開する

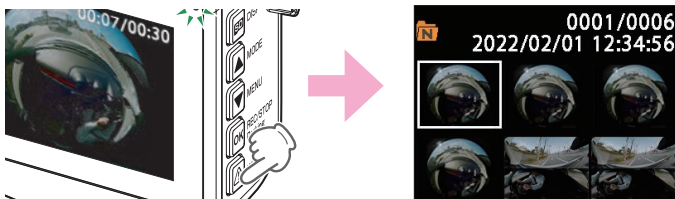
再生後は、下記の手順で録画を再開します。

4-1 再生中に ⚠ ボタンを押す



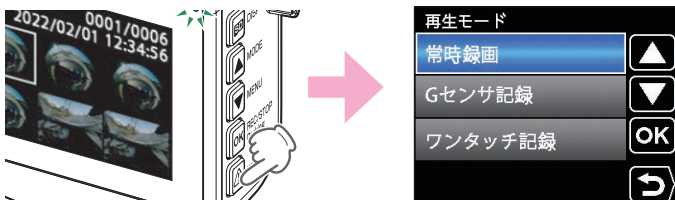
再生を停止します。

4-2 ⚠ ボタンを押す



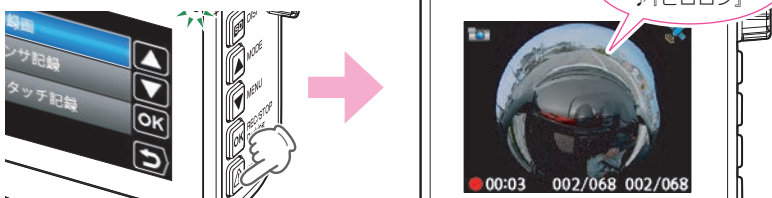
ファイル選択画面を表示します。

4-3 ⚠ ボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。

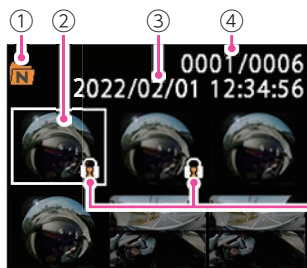
4-4 ⚠ ボタンを押す



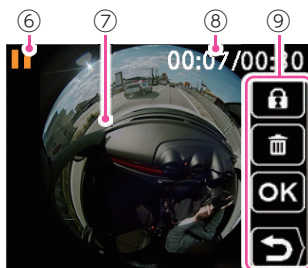
動画記録モードを表示し、自動で録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は P.66 を参照ください。



＜ファイル選択画面＞



＜ファイル再生画面＞



＜保護＞ P.71 ＜削除＞ P.72

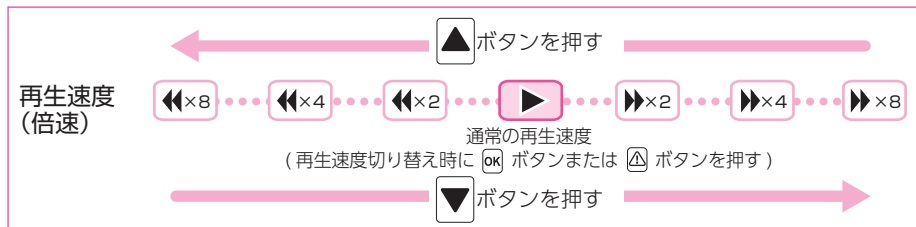
No.	表示名	説 明
①	フォルダアイコン	: 常時録画フォルダを選択中に表示します。 : イベント記録フォルダ(Gセンサー記録/ワンタッチ記録/後方異常接近記録)を選択中の表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白枠で表示します。
③	記録日時	録画した日時を表示します。
④	ファイル数	現在のファイル/総ファイル数を表示します。
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。(P.71)
⑥	動作アイコン	: 再生中に表示します。 : 早送り中に表示します。 : 早戻し中に表示します。 : 一時停止中に表示します。 : 8/4/2倍速の早送り・早戻し中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを表示します。
⑧	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑨	操作メニュー	録画ファイルの保護、削除などを行います。(P.70) ※ 操作メニューは一時停止中のみ表示します。

再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。

▲ボタンと▼ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。

再生速度切り替え時に、OKボタンまたは⏮ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。



※▶は早送り、◀は早戻し、▶は通常の再生です。

※早送り、早戻し中は音声は再生されません。

■ 再生モード時のボタン機能

ボタン	動作	機能	
ボタン	再生時	短押し	再生画面で押すと画面表示を切り替えます。 映像記録方式[魚眼]：魚眼表示⇒前方表示⇒車内表示⇒2分割表示 ⇒リアカメラ表示 映像記録方式[2分割]：2分割表示⇒リアカメラ表示
ボタン	選択時	短押し	前の録画ファイルを選択します。
	再生時	短押し	再生中に押すと再生速度を切り替えます。
ボタン	選択時	短押し	次の録画ファイルを選択します、
	再生時	短押し	再生中に押すと再生速度を切り替えます。
ボタン	選択時	短押し	ファイル再生画面を表示します。
	再生時	短押し	停止中/一時停止中に押すと再生します。 再生中に押すと一時停止し、操作メニューを表示します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。
ボタン	選択時	短押し	前の画面へ戻ります。
	再生時	短押し	再生中に押すと停止します。もう一度押すと前の画面へ戻ります。 一時停止中に押すと再生します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。

■ 操作メニュー時のボタン機能

ボタン	機能		
—	ボタン	使用しません。	
ボタン	保護	短押し	録画ファイルを保護します。(P.71)
	保護解除	短押し	録画ファイルを保護解除します。 (P.71)
ボタン	削除	短押し	録画ファイルを削除します。(P.72)
	すべて削除	短押し	フォルダ内の録画ファイルを全て削除します。 (P.72)
ボタン	決定	短押し	選択項目を決定します。
ボタン	戻る	短押し	前の画面に戻ります。

録画ファイルの保護/保護解除・削除について

録画ファイルは下記の手順で保護/保護解除、または削除することができます。

※保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除してから削除するか、フォーマットすることで削除できます。フォーマットを行うと、録画ファイルは全て(保護ファイル含む)削除します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

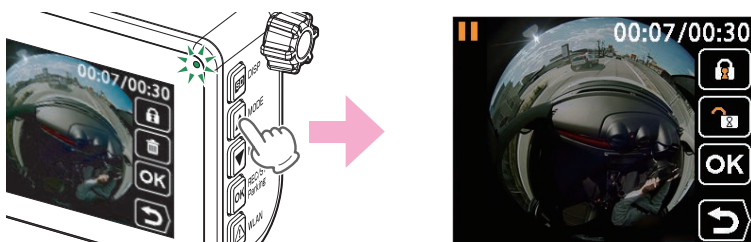
※初期値では、保護していない録画ファイルは各記録方法の上限に達すると上書きされます。(初期値「上書きモード：全て上書き」)

※フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを保護/保護解除、または削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に保護/保護解除または削除されます。

1. 録画ファイルを保護/保護解除する

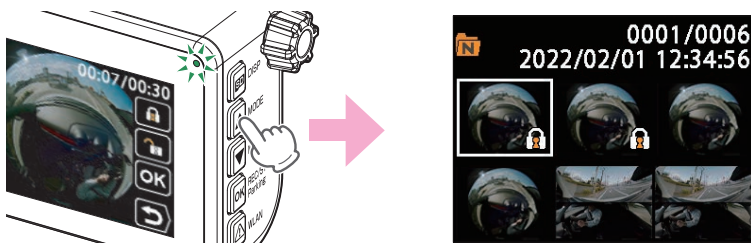
1-1 保護したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(☞ P.66、67)

1-2 ▲ボタンを押す



選択中の録画ファイルを「保護」、または「保護解除」を選択できます。

1-3 ▲ボタンを押す



表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルを保護します。保護が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

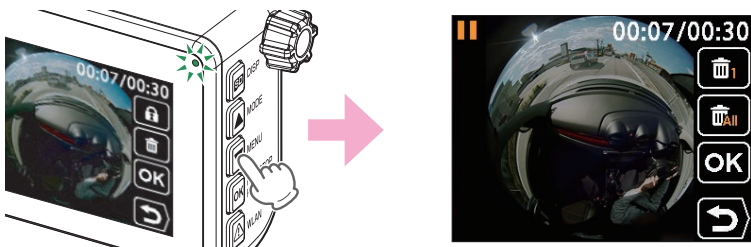
※保護したファイルは上書きされないため、上書きする場合は保護を解除してください。

保護が完了すると、ファイル選択画面上に (🔒) アイコンを表示します。
保護解除する場合は、手順「1-3」で ▼ボタンを押してください。

2. 録画ファイルを削除する

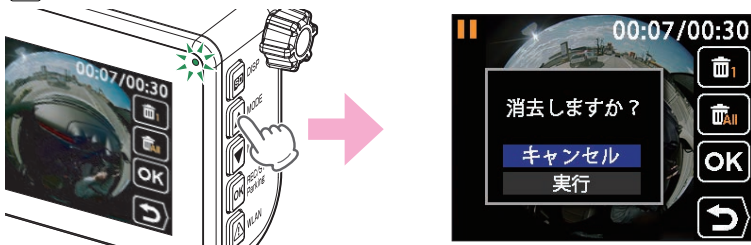
2-1 削除したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(P.66、67)

2-2 ▼ ボタンを押す

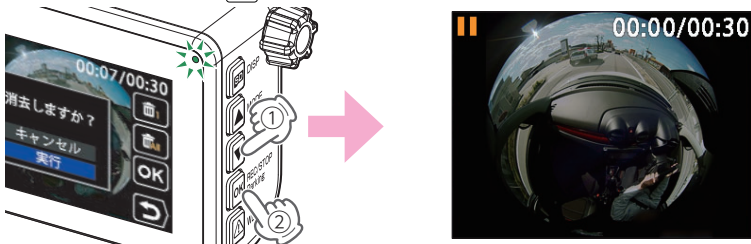


選択中の録画ファイルを「削除」、または「すべて削除」を選択できます。

2-3 ▲ ボタンを押す



2-4 [実行]を選択し、OK ボタンを押す



表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルを削除します。

削除が完了すると、次の録画ファイル再生画面になります。

※保護したファイルの場合、「ファイル保護されています 消去できません」と表示し、削除することはできません。保護解除(P.71)してから削除を行ってください。

フォルダ内の録画ファイルを全て削除する場合は、手順「2-3」で▼ボタンを押して「すべて削除」を選択してください。

専用アプリについて

専用アプリ「DR Remote TypeE」を使用し、スマートフォンと本機を無線LAN接続することにより、本機の録画ファイルをスマートフォンで再生したり、スマートフォンから録画操作や各種設定を行うことができます。

※本書では、iOS 端末で接続した場合の表示で記述しています。

※接続するスマートフォンの機種によっては、表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※他のアプリやBluetooth搭載機器と同時使用した場合、正常に動作しないことがあります。また、専用アプリが他のアプリやBluetooth搭載機器の動作に影響（一時停止等）を及ぼすことがあるため、専用アプリは単独で使用するをお勧めします。

※ディスプレイオーディオと連携しているスマートフォンでは、専用アプリを使用することはできません。

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ「DR Remote TypeE」をスマートフォンにインストールします。

対応OS、インストール方法、対応機種、よくある質問などは下記のQRコードまたは、弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/app/dr-remote-e/>

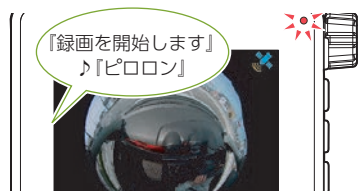


2. 無線LAN接続する

※本機と無線LAN接続できる機器はスマートフォン1台です。

※駐車記録モード（タイムラプス/動体検知）も無線LAN接続を継続する場合は駐車無線LAN継続を[ON]にしてください。（☛ P.60）

2-1 車両を始動（ACC ON）する



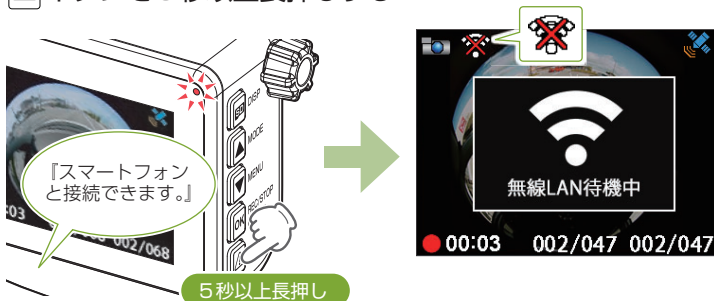
録画を開始します。

・無線LAN自動起動：ONの場合

「録画を開始します」⇒「スマートフォンと接続できます」とお知らせし手順「2-2」を省略します。

2-2

⚠ ボタンを5秒以上長押しする



無線LAN接続待機中になります。待機中は  アイコンを表示します。
※待機を中止する場合は、 ボタンを5秒以上長押ししてください。

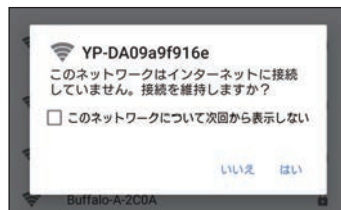
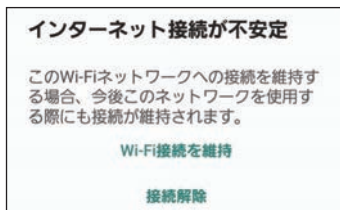
2-3

お使いのスマートフォンを本機の無線LANに接続する



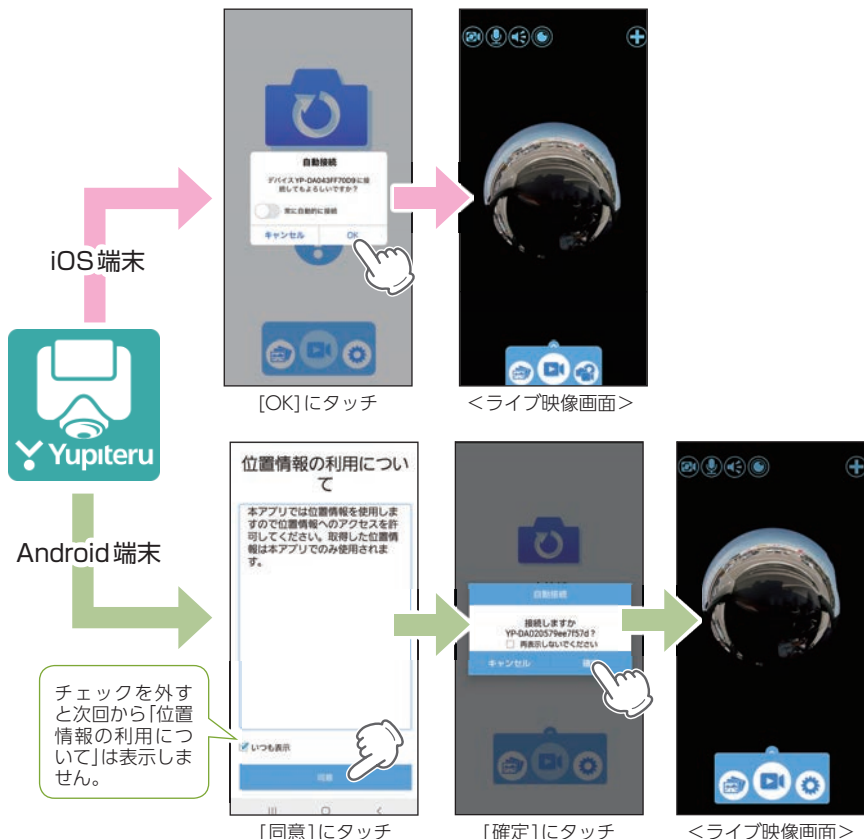
接続方法はスマートフォンの取扱説明書に沿って接続してください。
本機の無線LANは「YP-」から始まるネットワーク名で表示されます。
※接続を解除する場合は、 ボタンを5秒以上長押ししてください。

無線LAN接続中に下記メッセージを表示する場合は、[Wi-Fi接続を維持]や[はい]などにタッチしてください。



- ※メッセージの表示には、数秒かかる場合があります。
- ※[接続解除]や[いいえ]などにタッチした場合は、無線LAN情報を削除して再接続してください。
- ※無操作の場合は接続できませんので、再接続してください。

2-4 専用アプリアイコンにタッチし、[OK]/[確定]にタッチする



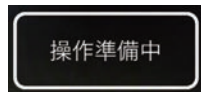
本機と接続し、ライブ映像画面を表示します。

※専用アプリの使用には、各種権限(カメラ/マイク/位置情報など)を「ON/許可」する必要があります。「キャンセル/許可しない」を選択した場合、スマートフォンの設定より権限を「ON/許可」してください。

- ・無線LAN接続後、右記メッセージを数秒表示します。
接続中は📶アイコンを表示します。



- ・「操作準備中」が表示されている間は、アプリ操作はできません。(約30秒間表示)

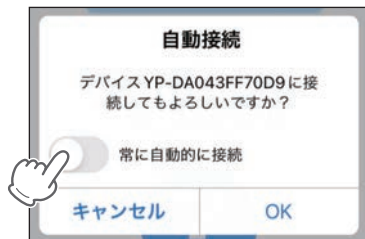


自動接続について

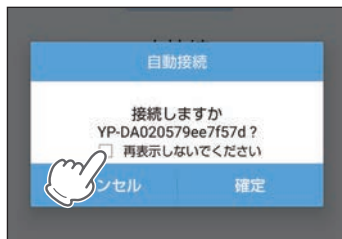
[☐ 常時 自動接続]にタッチでON(☒)すると、次回起動時に接続確認画面を表示しません。

※Android端末は[☐ 再表示しないでください]にタッチでON(☒)します。

※アプリ設定からも自動接続を[ON]できます。(P.96)



<iOS 端末>



<Android 端末>

アプリと接続が解除された場合

下記の手順に沿って再接続してください。

① にタッチする



② 本機SSIDの にタッチする



③ にタッチする



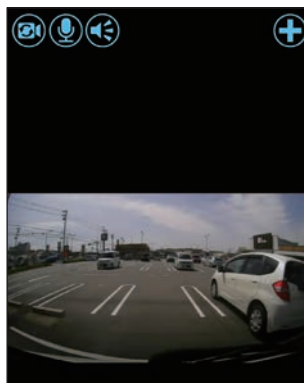
<ライブ映像画面>

3. ライブ映像画面

※音は出ません。映像表示のみとなります。



フロントカメラ<魚眼表示>



リアカメラ

※ [魚眼] にタッチすると非表示にできます。再表示する場合は、画面をタッチしてください。また、ドラッグ操作で任意の場所に移動させることができます。

※ Android 端末では右記アイコンを表示します。



スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。



No.	項 目	説 明
①	カメラ切替ボタン	フロントカメラ/リアカメラの映像を切り替えます。(P.79)
②	音声ボタン	音声録音のON/OFFを切り替えます。(P.81)
③	警報ボタン	LCDフラッシュ&サイレンで威嚇します。(P.81)
④	ビデオ表示モード ^{※1※2}	映像表示を[魚眼][360° VR][2分割]で切り替えます。(P.78)
⑤	アルバム画面ボタン	記録された録画ファイルを表示します。(P.84)
⑥	動画撮影ボタン	動画撮影を開始/停止します。(P.80)
⑦	メニューボタン	表示、各設定などメニューリストが表示されます。(P.90)
⑧	カメラリストボタン	カメラリスト画面を表示します。

※1：映像記録方式[2分割]ではアイコンは表示されません。

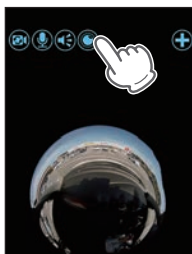
※2：映像記録方式[2分割]では映像表示は[2分割]で固定になります。

4. ビデオ表示モード

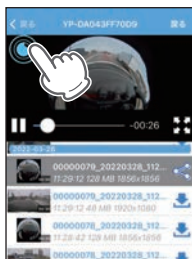
フロントカメラのライブ映像画面や再生画面の映像表示を切り替えることができます。

■ 映像表示を切り替える

4-1 ライブ映像画面、または再生画面の にタッチする



<ライブ映像画面>



<再生画面>



表示変更したい項目にタッチすると、映像表示が切り替わります。

表示名	アイコン	例：再生画面
魚眼表示		
360° VR表示 ※ タッチ操作できます。 (👉 P.79)		
2分割表示		 前方 車内

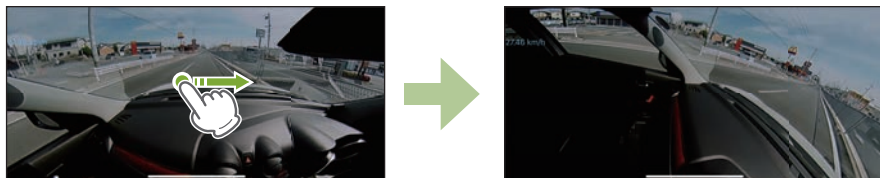
5. 画面タッチ操作

ビデオ表示モード [360° VR] ではタッチ操作によって、移動や拡大/縮小できます。

※ビデオ表示モード [魚眼][2分割] ではタッチ操作できません。

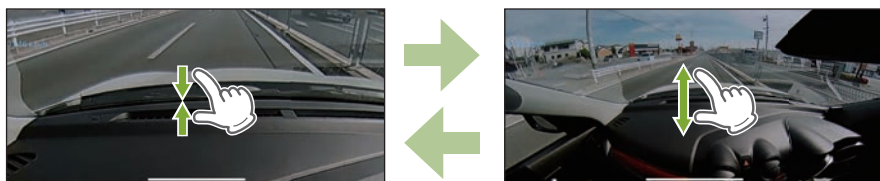
■ 移動

ドラッグ (画面に触れたまま指を動かす) することで任意の箇所へ移動できます。



■ 拡大/縮小

ピンチイン/ピンチアウト (2本の指で画面に触れたまま指の間隔を狭める/広げる) することで画面を拡大、縮小できます。



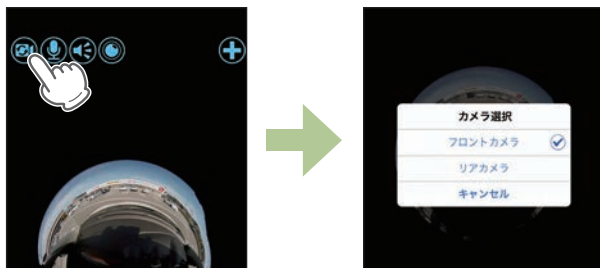
ピンチイン <縮小>

ピンチアウト <拡大>

6. カメラ切替

本機はフロントカメラ/リアカメラの映像を切り替えることができます。

6-1 (カメラ切替ボタン) にタッチする



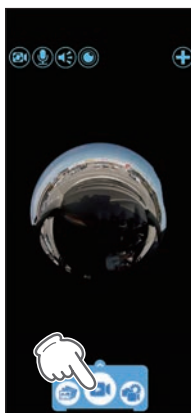
表示したいカメラにタッチしてください。

専用アプリの操作

1. 録画操作

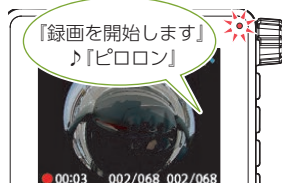
■ A：録画開始

A-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン) にタッチする



※ 録画中は「Recording」の文字を表示します。

※ 録画中は電源ランプ(赤)点灯し、録画時間を表示します。



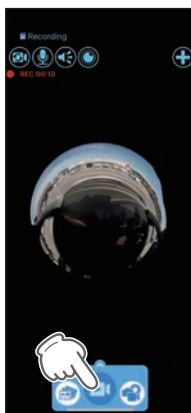
録画を開始します。

録画中は左上に赤色でRECと録画時間を表示し、(動画撮影ボタン)は点滅します。

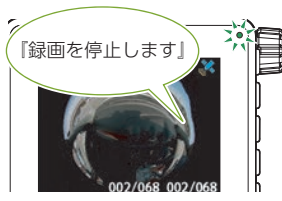
※ 専用アプリで録画中もイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)することができます。

■ B：録画停止

B-1 ライブ映像画面の (動画撮影ボタン) にタッチする



※ 録画停止中は電源ランプ(緑)点灯します。



録画を停止します。

2. 音声録音をON/OFFする

2-1 ライブ映像画面の (音声ボタン) にタッチする



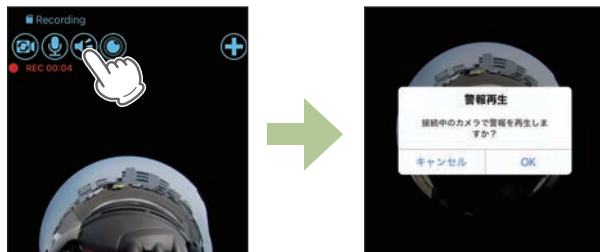
音声録音がOFFになります。ONにする場合は、(音声ボタン) にタッチしてください。

3. 警報する

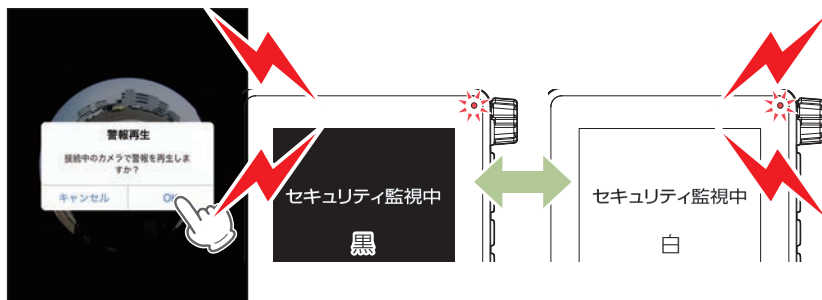
本機は離れた場所から不審者を威嚇できます。

※ご使用状況(機種、使用環境、建物の構造等)により通信距離が短くなったり通信できない場合があります。

3-1 ライブ映像画面の (警報ボタン) にタッチする



3-2 [OK] にタッチする



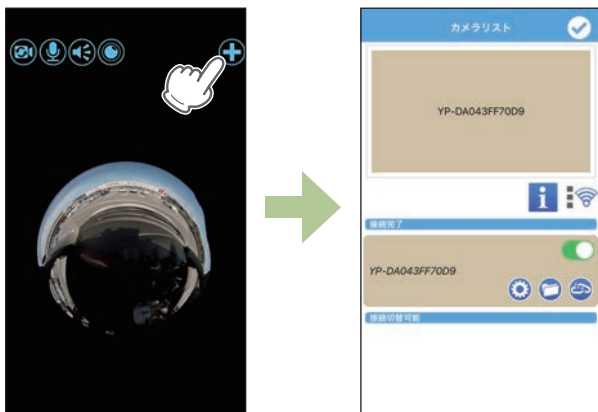
LCDフラッシュ(画面が白黒点滅)とサイレンで威嚇します。

※約10秒間、LCDフラッシュとサイレンを行います。

カメラリスト

1. カメラリスト画面を表示する

1-1 ライブ映像画面の  (カメラリストボタン) にタッチする



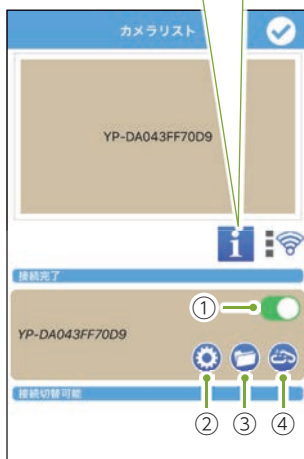
カメラリスト画面を表示します。

■ カメラリスト画面

無線LAN接続手順を表示します。



※ Android端末では、左記アイコンになり、タッチするとWi-Fi設定画面を表示します。



＜カメラリスト(無線LAN)＞



＜カメラリスト(Bluetooth)＞

☒ : ON
☐ : OFF

No.	項 目	説 明
①	ドライブレコーダー表示	ドライブレコーダーの撮影映像をライブ映像画面に表示するか選択できます。 ☒ : ライブ映像画面に表示できます。 ☐ : ライブ映像画面に表示しません。
②	ドライブレコーダー設定ボタン	ドライブレコーダー設定画面を表示します。(P.93)
③	ドライブレコーダーフォルダボタン	ドライブレコーダー、アプリで記録したファイルを閲覧できます。(P.84)
④	接続ボタン	ドライブレコーダーと接続/接続解除することができます。 接続をする場合は をタッチしてください。 接続を解除する場合は をタッチしてください。
⑤	無線LAN接続状態	無線LANの接続状態を表示します。 : 接続中、 : 未接続 ※ にタッチで無線LANをONできます。
⑥	解除ボタン ^{※1}	タッチでBluetoothデバイスを解除します。

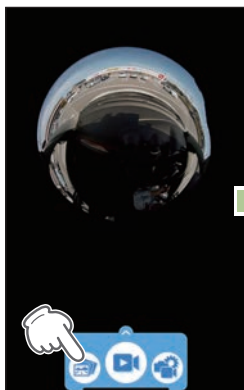
※1 : iOS端末では、アプリからBluetoothデバイスを解除した後に、スマートフォンのBluetooth設定からBluetoothペアリングを解除する必要があります。

再生

1. アルバム画面を表示する

本機で記録した映像をスマートフォンで再生することができます。

1-1 ライブ映像画面の (アルバム画面ボタン) にタッチする



※ Android 端末では、録画方法によりフォルダが分かれて表示されます。

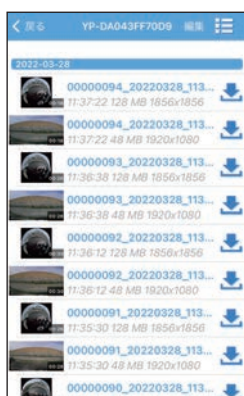


常時録画：[NormalRec/]
Gセンサー記録：[GsensorRec/]
ワンタッチ記録：[EVSW/]

ファイルリスト画面を表示します。

※ 録画中の場合は「他の操作を行う前に録画を停止してください」と表示されます。

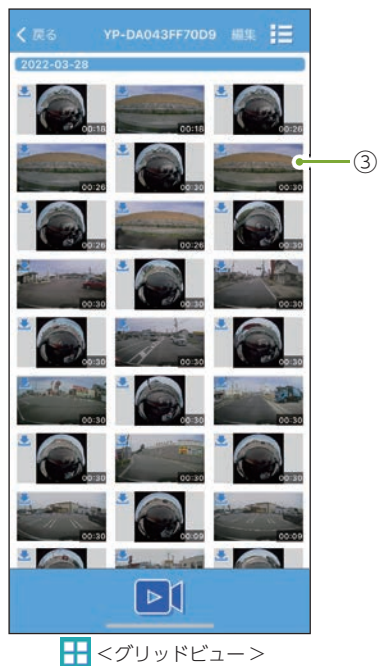
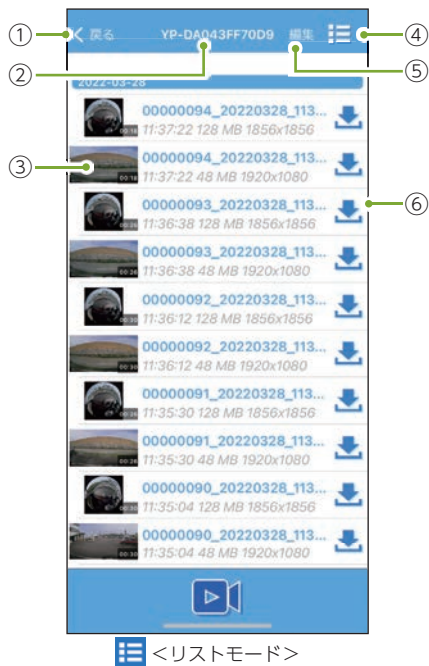
1-2 (ドライブレコーダーフォルダ) にタッチする



アルバム画面を表示します。

ローカルフォルダ、カメラロールは  P.88 を参照ください。

■ アルバム画面



No.	項 目	説 明
①	<戻る>	前の画面に戻ります。
②	フォルダ名	現在閲覧しているフォルダ名を表示します。 ※ タッチすると録画ファイルの閲覧先を変更できます。(P.88)
③	録画ファイル情報	録画ファイルの情報を表示します。
④	リスト表示 変更ボタン	リストの表示内容を変更できます。 ☰ リストモード、☐ グリッドビュー
⑤	編集	ファイル選択画面に移動します。(P.90)
⑥	ダウンロードボタン	スマートフォンに録画ファイルを保存します。(P.86)

2. 再生する

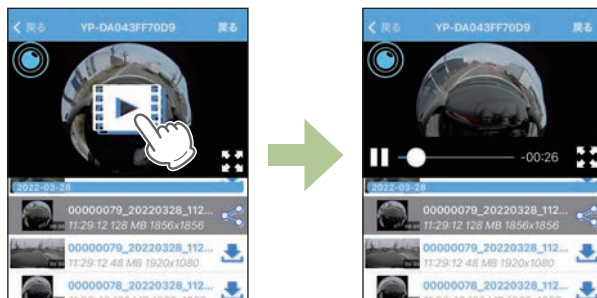
- 2-1** 再生したい録画ファイルにタッチし、 (ダウンロードボタン)にタッチする



ダウンロードが完了するとアイコンを表示します。

※ダウンロードした録画ファイルはスマートフォン(ローカルフォルダ)に保存(コピー)されます。

- 2-2**  にタッチする



録画ファイルを再生します。

※音声はスマートフォンから出ます。音量の調整はスマートフォン側で行ってください。

スマートフォンを横に向けると、全画面表示になります。



■ 再生画面

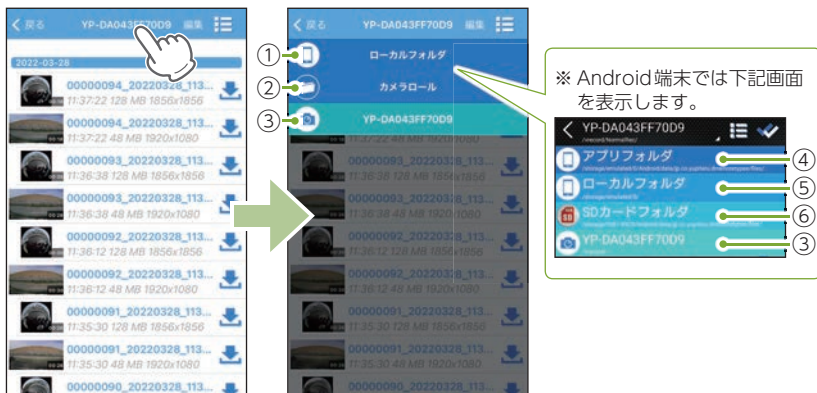


No.	項 目	説 明
①	<戻る	前の画面に戻ります。
②	ビデオ表示モード	表示モードを[魚眼][360° VR][2分割]で切り替えることができます。(P.78)
③	再生中ファイル	再生中の録画ファイルは背景が反転して表示されます。
④	戻る	ライブ映像画面に戻ります。(P.77)
⑤	再生ボタン	▶：再生します。⏏：一時停止します。
⑥	タイムライン	タッチした位置から再生できます。
⑦	再生時間(全体)	録画ファイルの全体再生時間を表示します。 ※ Android端末では、現在再生中の時間も表示します。
⑧	表示切替	全画面表示に切り替えます。
⑨	削除	ファイルを削除します。

※数秒でタイムラインなどの表示は消えます。再度表示する場合は、画面にタッチしてください。

3. 閲覧先のフォルダを変更する

3-1 フォルダ名にタッチする



閲覧したいフォルダにタッチしてください。以下のフォルダ先を閲覧することができます。

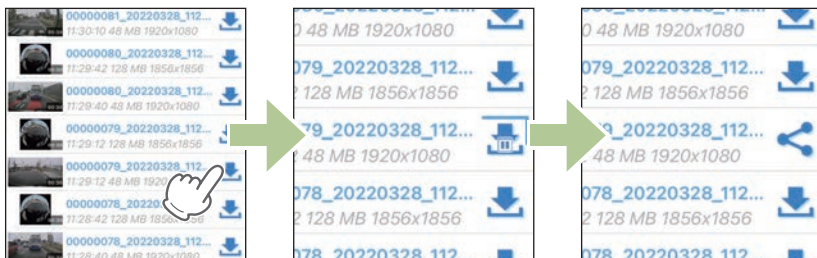
No.	項 目	説 明
①	ローカルフォルダ (iOS 端末)	ダウンロード / 自動保存した録画ファイルを閲覧できます。
②	カメラロール (iOS 端末)	スマートフォン内の全データ一覧を閲覧できます。
③	ドライブレコーダー フォルダ (本機の SSID 名) (共通)	ドライブレコーダー、専用アプリで記録したファイルを閲覧できます。
④	アプリフォルダ (Android 端末)	ダウンロード / 自動保存した録画ファイル、静止画を閲覧できます。 ※ 自動保存先が「スマホ本体」の場合に保存されます。
⑤	ローカルフォルダ (Android 端末)	スマートフォン内の全データ一覧を閲覧できます。 ※ 端末によっては表示しません。 ※ フォルダ構造については ● P.110を参照ください。
⑥	SD カードフォルダ (Android 端末のみ)	自動保存した録画ファイルを閲覧できます。 (● P.110) ※ microSD 非搭載機の場合は表示しません。 ※ 自動保存先が「SD カード」の場合に保存されます。

録画ファイルの保存(コピー)/削除

1. 録画ファイルを保存(コピー)する

1-1 アルバム画面を表示する(☛ P.84)

1-2 保存したい録画ファイルの  (ダウンロードボタン)にタッチする



スマートフォンに保存(コピー)されます。

保存されている場合は  になり、タッチするとSNSなどに録画ファイルを共有することができます。

※ローカルフォルダに保存(コピー)されます。(☛ P.88)

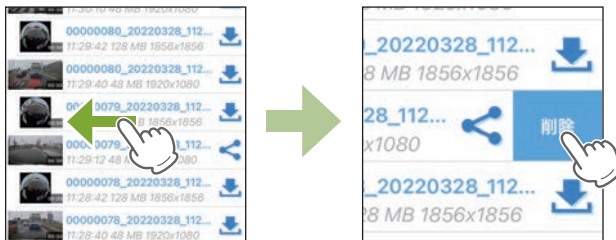
2. 録画ファイルを削除する

注意

フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

2-1 アルバム画面を表示する(☛ P.84)

2-2 削除したい録画ファイルを左にフリックし、[削除]にタッチする

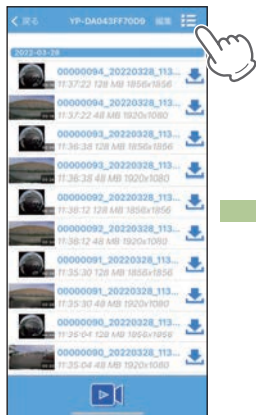


録画ファイルが削除されます。

録画ファイルを複数選択してダウンロード/削除する場合は、下記に手順で行います。

①[編集]にタッチする

※ Android端末では、右上の  にタッチします。



<アルバム画面>

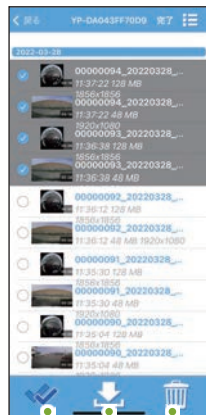
②ファイルを複数タッチする



<ファイル選択画面>

③  (ダウンロード) /  (削除)にタッチする

※ Android端末では、アイコンの位置が異なります。



全選択 削除
ダウンロード

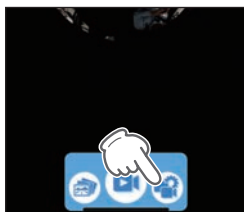
設定画面の表示方法

設定変更にはあらかじめ、専用アプリのインストールと本機との無線LAN接続が必要になります。準備してから行ってください。( P.73)

1. ドライブレコーダー設定画面を表示する

■ A : 表示方法 ①

A-1 ライブ映像画面の  (メニューボタン)にタッチする



・ライブ映像画面の表示方法は…
 P.73「専用アプリについて」

※ 録画中の場合は「他の操作を行う前に録画を停止してください」と表示されます。

A-2

⚙️ (その他設定)にタッチする



ドライブレコーダー設定画面を表示します。

映像記録方式のアイコンにタッチすると、記録映像の形式を変更することができます。

魚眼：録画した映像そのままで記録します。

2分割：前方と車内の2画面の映像で記録します。

※ [2分割]に設定した場合、ビデオ表示モードは[2分割]で固定になります。
(● P.78)



■ B：表示方法 ②

B-1

カメラリスト画面を表示する(● P.81)

B-2

本機のSSID名の ⚙️ にタッチする



ドライブレコーダー設定画面を表示します。

2. アプリ設定画面を表示する

2-1 ドライブレコーダー設定画面を表示する (P.90)

2-2 本機のSSID名にタッチし、[アプリ設定]にタッチする



アプリ設定画面を表示します。

<アプリ設定画面>

設定画面を左右フリックすることでも設定画面を切り替えることができます。



<ドライブレコーダー設定画面>

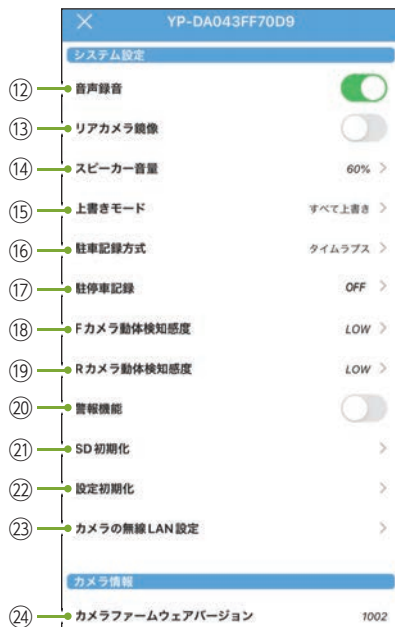
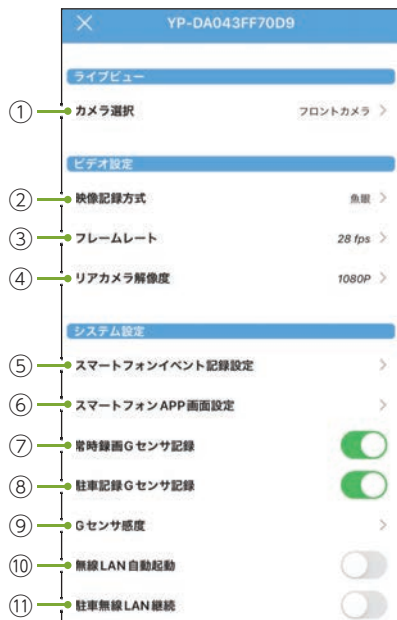
<アプリ設定画面>

設定画面

1. ドライブレコーダー設定画面

ドライブレコーダー本体の設定を変更することができます。

※ ドライブレコーダー設定画面の表示方法は  P.90 を参照ください。



 : ON
 : OFF

★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
①	カメラ選択	フロントカメラ(★) /リアカメラ	ライブ映像で表示する映像を選択します。
②	映像記録方式	魚眼(★)/2分割	記録映像の方式を選択します。 魚眼：録画した映像そのままで記録します。 2分割：前方と車内の2画面の映像で記録します。
③	フレームレート※ ¹	28fps(★)/14fps	1秒あたりのコマ数を選択します。
④	リアカメラ解像度※ ¹	1080P(★)/720P	リアカメラの解像度を選択します。 ※ 1080P：1920×1080、720P：1280×720 ※ フロントカメラの解像度は魚眼(1856×1856)、 2分割(2048×1536)になります。

※1：フレームレート/解像度を変更する場合、フォーマットが必要になります。フォーマットを行うと、録画ファイルが全て(保護ファイル含む)削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

No.	項 目	設 定	説 明
⑤	スマートフォンイベント記録設定 (P.97)	G センサ記録※2 ワンタッチ記録 駐車 G センサ記録※2 駐車 ワンタッチ記録 駐車 動体検知記録	ON/OFF (★) スマートフォンに各イベント記録の映像を自動保存するかON/OFF で設定します。 ※ 設定のON/OFF に関係なくスマートフォンストレージ制限値を超えた場合、容量不足をドライブレコーダーとスマートフォンでお知らせします。
		スマートフォンイベント記録時間	10 秒 / 20 秒 / 30 秒 (★) / 60 秒 スマートフォンに自動保存するイベント記録時間を設定します。
		スマートフォンイベント上書き※3※4	ON (★) / OFF スマートフォンに自動保存した録画ファイルを上書きするかON/OFF で設定します。 ※ ON : すべて上書き、OFF : 上書き禁止
		スマートフォンイベント保存先 (Android 端末のみ)	スマホ本体 (★) / microSD 自動保存先を選択します ※ microSD 非搭載機の場合は [microSD] を選択できません。
		スマートフォンストレージ制限値※4	3.0GB (★) スマートフォンの自動保存に制限 (保存停止) するストレージの残容量を設定します。(P.100)
		カメラ映像表示時間	30 秒 / 1 分 (★) / 2 分 / 5 分 / 10 分 / 30 分 / 連続表示 設定した時間が経過すると、ライブ映像は非表示になります。 ※ 表示する場合、画面に表示されている [映像表示] にタッチしてください。
		省電力画面移行時間	30 秒 (★) / 1 分 / 2 分 / 5 分 / 10 分 / 30 分 / 連続表示 設定した時間が経過すると、ライブ映像画面のバックライトがOFF になります。 ※ 画面をタッチするとバックライトがON になります。 ※ スマートフォン本体の設定ではなく、専用アプリでの設定が優先されます。
⑦	常時録画G センサ記録	ON (★) / OFF	常時録画でG センサー記録を使用するかON/OFF で設定します。

※2 : スマートフォンにイベント記録を自動保存する場合、⑦⑧も [ON] にする必要があります。必ず [ON] に設定しているか確認してください。

※3 : [スマートフォンイベント上書き : OFF] の場合、イベント記録が上限に達すると、容量不足をスマートフォンでお知らせし、自動保存を停止します。その際もドライブレコーダー本体は⑦の上書きモードで動作します。

※4 : スマートフォンイベント上書きのON/OFF に関係なくスマートフォンストレージ制限値を超えた場合、容量不足をスマートフォンでお知らせします。また、[スマートフォンイベント上書き : ON] の場合でも動作環境によっては自動保存を停止します。

★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
⑧	駐車記録Gセンサ記録	ON(★)/OFF	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)でGセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
⑨	G セ ン サ 感 度	常時録画G センサ感度X	0.5G ~ 4.0G (1.0G★) 常時/駐車記録時のX(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、大きくなると「鈍感」になります。
		常時録画G センサ感度Y	
		常時録画G センサ感度Z	
		駐車記録G センサ感度X	
		駐車記録G センサ感度Y	
		駐車記録G センサ感度Z	
⑩	無線LAN自動起動	ON/OFF(★)	本機を起動したときに、無線LANを自動で起動するかON/OFFで設定します。
⑪	駐車無線LAN継続	ON/OFF(★)	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時に、無線LAN起動状態を継続するかON/OFFで設定します。
⑫	音声録音	ON(★)/OFF	動画と同時に音声も録音するかON/OFFで設定します。
⑬	リアカメラ鏡像 ^{*2}	ON/OFF(★)	リアカメラで表示、記録する映像を選択します。 ON：鏡像、OFF：正像
⑭	スピーカー音量	オフ/20/40/60(★)/80/100%	本機の音量を設定します。
⑮	上書きモード	すべて上書き(★)/ 常時録画上書き/ 上書き禁止	詳細は P.25「上書きモードについて」を参照ください。
⑯	駐車記録方式	タイムラプス(★)/ 動体検知	駐車記録モードの方式を選択します。 ※ タイムラプスの詳細は P.27、動体検知の詳細は P.28を参照ください。
⑰	駐停車記録	OFF(★)/LOW/ MID/HIGH	Gセンサーが数分間動きがないと判断した場合に、自動で駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へ移行する感度を選択します。 ※ 機能しない場合は、[HIGH]を選択してください。
⑱	Fカメラ 動体検知感度	LOW(★)/MID/ HIGH	フロントカメラの動体検知感度を選択します。
⑲	Rカメラ 動体検知感度	LOW(★)/MID/ HIGH	リアカメラの動体検知感度を選択します。
⑳	警報機能	ON/OFF(★)	駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)時にイベント記録が発生した場合、LCDフラッシュを行うかON/OFFで設定します。
㉑	SD初期化	キャンセル/実行	SDカードを初期化(フォーマット)します。

★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
②	設定初期化	キャンセル/実行	本機をご購入時の設定に戻します。
③	カメラ無線LAN設定	—	本機の無線LAN名称 (SSID) や無線LANパスワードを設定します。 ※ SSID : 1 ~ 16文字以内 ※ パスワード : 8 ~ 16文字以内。
④	カメラファームウェアバージョン	—	本機のバージョンを表示します。

2. アプリ設定画面

アプリで利用できる機能を設定することができます。

※アプリ設定画面の表示方法は P.92 を参照ください。



★は初期値です。

No.	項 目	設 定	説 明
①	アプリバージョン	—	アプリのバージョンを表示します。
②	Bluetooth ペアリング (iOS 端末のみ)	—	Bluetooth 接続画面を表示します。(P.63)
③	圏外通知※ ¹	ON/OFF (★)	Bluetooth 通信エリアの圏外/圏内をスマートフォンにプッシュ通知するか ON/OFF で設定します。
④	圏内通知※ ¹		
⑤	ファイルの並び替え	古い順 (旧⇒新) / 新しい順 (新⇒旧) (★)	録画ファイルを新しい順、または古い順に並び替えて表示します。
⑥	自動接続 (カメラの自動接続)	ON/OFF (★)	アプリ起動時、ドライブレコーダーと自動接続するか設定します。
⑦	一時ファイルの削除	キャンセル / 実行 (OK)	作業時に一時的に保存されるファイル (一時ファイル) を削除します。

※1 : Bluetooth での接続が必要になります。あらかじめ Bluetooth ペアリングを行ってください。(P.63)

スマートフォンにイベント記録を自動保存する

スマートフォンにイベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録、動体検知記録)の映像を自動保存することができます。

⚠ 注意

- ・初期値では[OFF]のため、使用する場合は設定を変更してください。
- ・自動保存される映像はイベント発生時に表示されているカメラ映像になりますのでご注意ください。
- ・ライブ映像画面で録画中に動作します。バックグラウンド/画面OFF/ライブ映像画面以外/録画停止の状態では動作しません。
- ・無線LANの電波環境やスマートフォンの機種によっては、コマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
- ・自動保存される映像の解像度/フレームレートは、ネットワーク環境や端末(OSバージョン)により異なります。また、記録映像に音声は保存されません。
- ・スマートフォンに自動保存できるファイル件数は、お使いのスマートフォンの仕様やストレージにより異なります。

1. 自動保存する

1-1 ドライブレコーダー設定画面を表示する (☛ P.90)

1-2 [スマートフォンイベント記録設定]にタッチする



1-3 自動保存するイベント記録にタッチでONする



ON : ON
OFF : OFF

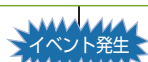
設定が完了します。

※必要に応じて[スマートフォンイベント記録時間][スマートフォンイベント上書き]を設定してください。(☛ P.94)

■ 自動保存の動作

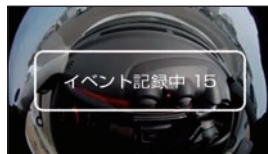
イベントが発生した約2秒後から自動保存を開始します。

イベント記録は3通り



ライブ映像画面に表示している映像で録画ファイル
を生成し自動保存^{*2}します。

自動保存を開始すると、画面に「イベント記録中XX」と
表示し、イベント記録終了までのカウントダウン^{*1}を
開始します。終了後も録画は継続して行われます。



※ イベント記録中はカメラ切替ボタンなどの操作はできません。

※ イベント記録中に他のアプリ(通話アプリなど)が起動した場合、途中までイベント記録を行い自動保存を終了します。他のアプリ操作が終了後、再度専用アプリのライブ映像画面を表示してください。

※ 1 : [スマートフォンイベント記録時間]の設定によって、スマートフォンに自動保存する時間 / カウントダウンは異なります。(P.94)

※ 2 : 保存先は P.110 を参照ください。

ドライブレコーダー本体のイベント記録とは別で動作します。自動保存で見たい映像が記録されていない場合は、ドライブレコーダー側のイベント記録をご確認ください。

SDカード初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機または専用アプリでフォーマットしてください。

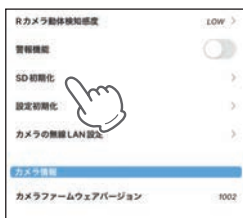
※フォーマットを行うと、「保護した録画ファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンやスマートフォンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※本機でもフォーマットを行うことができます。(P.14)

※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

1. SDカードをフォーマットする

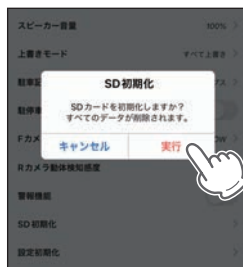
1-1 ドライブレコーダー設定画面の[SD 初期化]にタッチする



・ドライブレコーダー設定画面の表示方法は…

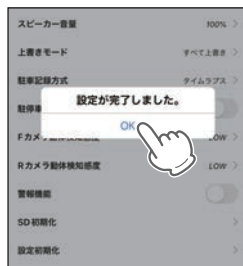
P.90「設定画面の表示方法」

1-2 [実行]にタッチする



フォーマットを開始します。

1-3 [OK]にタッチする



フォーマットが完了します。

スマートフォンストレージ制限値

スマートフォンの自動保存に制限(保存停止)するストレージの残容量を設定します。

※スマートフォンストレージ制限値を超えた場合、容量不足をスマートフォンでお知らせします。

※スマートフォンのストレージ残容量は、インストールしたアプリや撮影した画像/動画データによって変化するため、制限値はその都度ご確認ください。

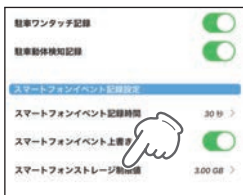
1. 自動保存を制限する残容量を設定する

1-1 ドライブレコーダー設定画面を表示する(☛ P.90)

1-2 [スマートフォンイベント記録設定]にタッチする



1-3 [スマートフォンストレージ制限値]にタッチする



※Android 端末は[スマートフォンイベント保存先: スマホ本体]でのみ設定できます。



1-4 制限値を設定する



※Android 端末の場合



▲(緑三角)を左右にスライドさせて制限値(残容量MAX ~ 1.0GB)を変えてください。

※青:使用中、緑:使用可能容量、灰色:ストレージ残容量、赤:制限値オーバー

※ストレージ残容量制限設定の数値にタッチで直接入力もできます。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_n.html

	再生のみ	画像処理機能 ^{※1} を使用
OS	Microsoft Windows 11、10	
CPU	Intel Core i3、2.7GHz以上	Intel Core i5、3.0GHz以上
RAM	4GB 以上	8GB 以上

(2022年3月現在)

※1：映像記録方式の設定「魚眼」で記録した録画ファイルを表示切替(前方表示など)すること。

※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer TypeN] アイコンをクリックする

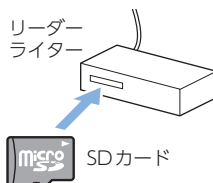
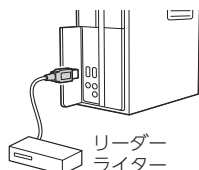


専用ビューアソフトが起動します。

※専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



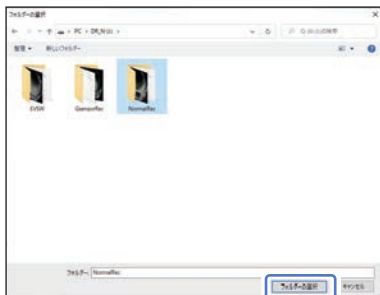
3-2

 (フォルダを選択) をクリックする



3-3

接続したSDカードのフォルダを選択し、[フォルダーの選択]をクリックする



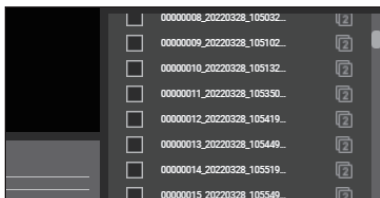
・フォルダ名について

常時録画/タイムラプス
/ 動体検知 …… 「NormalRec」フォルダ
Gセンサー記録 …「GsensorRec」フォルダ
ワンタッチ記録 …「EVSW」フォルダ

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-4

録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…

➡ P.103「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

※リアカメラの映像も自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1

専用ビューアソフト右上(フロントカメラ側)の × をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示(フロントカメラ：魚眼表示)>



<標準表示(リアカメラ)>



<全画面表示(フロントカメラ：魚眼表示)>

※ 録画ファイル再生時に自動で表示されます。
(別ウィンドウ表示)

No.	表示名	説 明		
①	ソフトウェア名称	専用ビューアソフトの名称を表示します。		
②	ファイル コントロール		再生/ 一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、 連続して再生します。 ※ 再生画面をクリックでも再生/一時停止できます。
			前のフレーム	クリック毎に1フレーム前の映像を表示します。
			静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEG ファイル)に変換して保存します。
			次のフレーム	クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。
			前のファイル	前の録画ファイルを再生します。
			次のファイル	次の録画ファイルを再生します。
			再生速度を 下げる	クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ~ 0.3 倍速)
			再生速度を 上げる	クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ~ 4.0 倍速)
③	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸 でグラフ表示します。		
④	バージョン情報	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
⑤	再生時間	再生中の現在時間/全体時間を表示します。		
⑥	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
⑦	音量	アイコンクリックでミュートON/OFFできます。 アイコンにカーソルを合わせると音量バーが表示され、左右操作で 音量を調整できます。		
⑧	表示切替	クリック毎に画面表示が切り替わります。(P.106) ※ 映像記録方式を[2分割]で記録した録画ファイルは、2分割表示で固定になります。		
⑨	全画面表示	全画面表示になります。		
⑩	記録日時	記録した日時を表示します。		
⑪	メニュー		全て選択	全てのファイルにチェックを入れます。 ※ ファイルを個別に選択する場合は、ファイル名の 左側チェックボックスをクリックしてください。
			フォルダを選択	フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。
			ファイルを選択	1 ファイルを再生リストに追加します。
			削除	チェックが入った録画ファイルを削除します。
			全てループ	ループ(繰り返し)の動作を切り替えます。  : 再生リストループ再生します。
			1 ファイル ループ	 : 1 ファイルをループ再生します。
			ループしない	 : 再生リスト最後の録画ファイルを再生後、 停止します。

No.	表示名	説 明
⑫	再生リスト	録画ファイルの録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 フロント+リアカメラの録画ファイルの場合、  アイコンを表示します。 映像記録方式が「魚眼」の録画ファイル(フロントカメラのみ)の場合は、  が表示されます。 ※ ファイル名の詳細は  P.108「ファイル名について」を参照ください。
⑬	緯度経度	GPS で記録した緯度経度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。
⑭	走行速度	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。
⑮	標高	GPS で記録した標高を表示します。(単位：メートル(m)) ※ GPS データがない場合は変化しません。
⑯	地図	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自転車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。
⑰	再生速度	再生速度を表示します。(0.3 ~ 4.0 x)
⑱	プログラム	— 最小化 ウィンドウを最小化します。
		□ 最大化 /元に戻す ウィンドウを最大化/元に戻します。
		× 閉じる ソフトウェアを終了します。
⑲	ミラー表示切り替え	リアカメラの映像を左右反転します。

2. 表示エリアの操作について

※ 映像記録方式を「2分割」で記録した録画ファイル、または魚眼表示では操作できません。あらかじめご了承ください。

■ 移動

マウスの左ボタンをドラッグで表示させたい部分まで移動します。



■ 拡大/縮小

マウスのホイールボタンを前後に回転させ画面を拡大/縮小します。



< 拡大 >



< 縮小 >

3. 表示切替について

● ◻ ◻ ◻ (表示切替) アイコンをクリックすることでフロントカメラの画面表示を変更できます。

※ 映像記録方式を[2分割]で記録した録画ファイルは、2分割表示で固定になります。

表示名	アイコン	画 面
魚眼表示		
前方表示		
車内表示		
2分割表示		

前方

車内

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像や専用アプリでダウンロードした録画ファイルは、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。

下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

(2022年3月現在)

※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

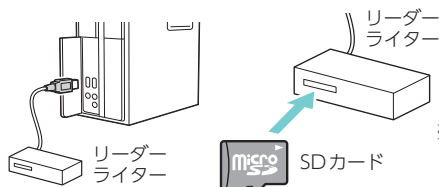
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

■ A：パソコンに本機のSDカードを接続

⚠ 注意

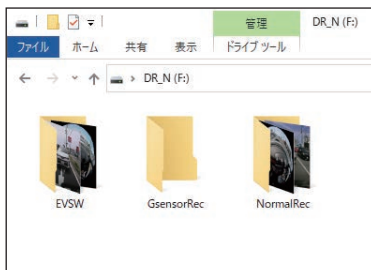
- ・パソコンではファイル再生やバックアップ以外の操作をしないでください。SDカード内のデータの書き換え/消去などを行った場合、本機が正常に動作しないことがあります。その際は、専用アプリでフォーマットを行ってください。
- ・ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。
- ・本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

A-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

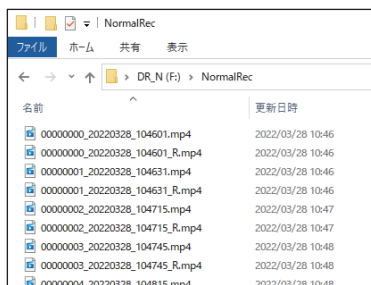
A-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について

常時録画/タイムラプス
/ 動体検知 …… [NormalRec] フォルダ
Gセンサー記録 … [GsensorRec] フォルダ
ワンタッチ記録 … [EVSW] フォルダ

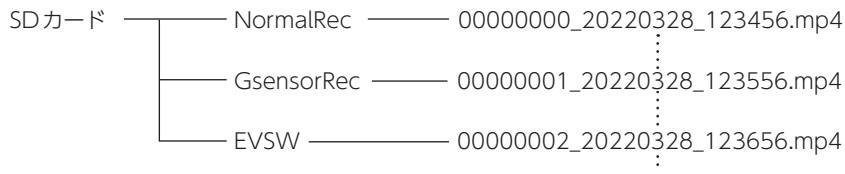
A-3 録画ファイルをダブルクリックする



Windows 標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。



■ ファイル名について

ファイル番号 (00000000 ~ 99999999) は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 00000000 _ 20220328 _ 123456 _ R . mp4 — 動画

ファイル番号 記録日 (年月日) 記録時間 (時分秒) リアカメラの映像には「R」が付きます。

※ ファイル番号 99999999 後は、「SDカードエラー」と音声でお知らせします。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(P.14、99)

■ B：パソコンにスマートフォン(Android端末)を接続

保存(コピー)した録画ファイル(P.89)を再生することができます。

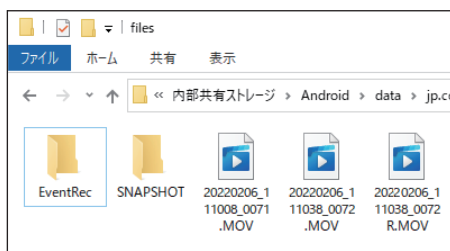
※スマートフォンにイベント記録の映像を自動保存した場合、その録画ファイルもパソコンで再生することができます。

※Android7/8は、録画ファイルを再生できない場合があります。

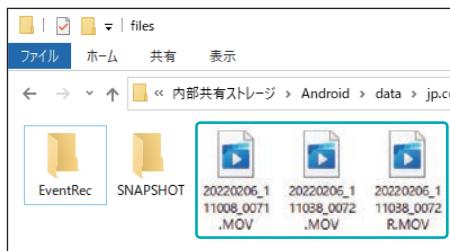
※iOS端末は、パソコンに接続しても録画ファイルを再生することができません。

B-1 USBケーブルをパソコンに接続し、スマートフォンをUSBケーブルに接続する

B-2 スマートフォンを開き、[内部共有ストレージ]⇒[Android]⇒[data]⇒[jp.co.yupiteru.drremotetypeee]⇒[files]の順に開く



B-3 再生したい録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準の「映画&テレビ」で再生することができます。

※「EventRec」フォルダは、スマートフォン(本体)に自動保存したイベント記録が保存されています。

※「SNAPSHOT」フォルダは、本機では使用しません。

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

内部共有ストレージ — Android — data — jp.co.yupiteru.drremotetypeee

②スマートフォン(本体)に自動保存した録画ファイル

内部共有ストレージ — Android — data — jp.co.yupiteru.drremotetypeee

③スマートフォン(SDカード)に自動保存した録画ファイル

SDカード — Android — data — jp.co.yupiteru.drremotetypee

■ ファイル名について

記録日(年月日)

記録時間(時分秒)

-ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます。)

記録日(年月日)※1

記録時間(時分秒)

※1：イベント記録の種類によって頭文字に「G (Gセンサー記録)」、 「S (ワンタッチ記録)」、 が付きます。動体検知記録には頭文字は付きません。

こんなときは

本機に異常などがあった場合に音声とメッセージでお知らせします。音声 / メッセージを解除する場合は、いずれかのボタンを押してください。

※SDカードエラーが頻繁に出る場合は、新しいSDカードに交換してください。

※音量[OFF]では、音声によるお知らせをしません。あらかじめご了承ください。

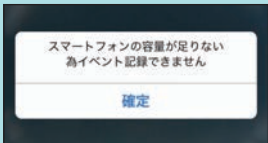
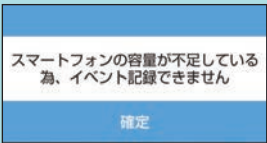
■ 本機

メッセージ	対処方法
SDカードを 挿入してください	☐ SDカードが挿入されていますか、または正しく挿入されていますか。(➡ P.20) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
SDカードエラー	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード / microSDXCカード ・容量：16GB ~ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(➡ P.20) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 ☐ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、録画ファイルが全て(保護ファイル含む)削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(➡ P.14、99)
対応していない SDカードです	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード / microSDXCカード ・容量：16GB ~ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上
SDカードの 初期化に 失敗しました	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード / microSDXCカード ・容量：16GB ~ 128GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(➡ P.20) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 ☐ 他の機器でSDカードを認識することができるか確認してください。

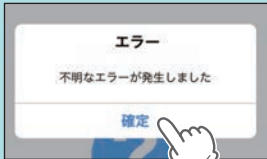
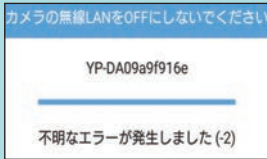
■ 本機

メッセージ	対処方法
SDカードが いっぱいです	☐ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。(● P.25) ☐ SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機または専用アプリでフォーマットしてください。(● P.14、99)
Gセンサー領域が いっぱいです	☐ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書き]に設定した場合、イベント記録が最大記録ファイル数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は(● P.60、93)で確認できます。
ワンタッチ領域が いっぱいです	

■ 専用アプリ

メッセージ	対処方法
『スマートフォン の容量が足りない (不足している)為 イベント記録でき ません』	☐ スマートフォンストレージ制限値を変更してください。(● P.100) ☐ スマートフォンイベント上書きが[OFF]になっていませんか。(● P.93) スマートフォンイベント上書きを[OFF]に設定した場合、イベント記録がスマートフォン容量の上限に達すると、自動保存を停止します。 ☐ 専用アプリでダウンロード/自動保存したイベント記録の録画ファイルを削除してください。(● P.89) スマートフォンにダウンロード/自動保存したイベント記録の録画ファイルは、iOS 端末はローカルフォルダ、Android 端末はアプリフォルダ/SDカードフォルダに保存されています。  < iOS 端末 >  < Android 端末 >

■ 専用アプリ

メッセージ	対処方法
『不明なエラーが発生しました』	☐ スマートフォンと無線LANを再接続してください。 下記の手順で再接続してください。 ①[確定]にタッチする(iOS端末のみ)  < iOS 端末 >  < Android 端末 > ②スマートフォン内から専用アプリの無線LAN接続情報を削除する ③スマートフォンと無線LANを再接続する(☞ P.76) ※ 上記の手順で接続されない場合は、機内モードを一度ON/OFFし、通信機能をリセットしてから再接続を行ってください。
iOS : 『カメラと接続する権限が必要です』 Android : 『写真と動画の撮影を「DRY Remote TypeE」に許可しますか?』 Android : 『「DRY Remote TypeE」に写真と動画の撮影を許可しますか?』 など	☐ 権限を「ON/許可」してください。 スマートフォン内で専用アプリに関する権限について「ON/許可」する必要があります。(カメラ、マイク、位置情報などの機能) ※ [キャンセル/許可しない]にタッチした場合は、スマートフォンの設定より権限を[ON/許可]してください。 ①[設定]にタッチする  < iOS 端末 > ②権限をONにする  ON : ON OFF : OFF ①[許可]にタッチする  < iOS 端末 >  < Android 端末 >

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。(● P.35)

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(● P.20)
- ☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは上書きされないため、上書きする場合は保護を解除してください。(● P.71)

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない

- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは駐車監視用 電源直結コード接続していませんか。
設定によっては車両停止(ACC OFF)後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(● P.13)

録画ファイルがない

- ☐ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード[すべて上書き]のため上限に達すると上書きされます。(● P.25)
- ☐ 各専用フォルダを確認してください。(● P.22、108)
- ☐ フロントカメラまたはリアカメラの映像を削除していませんか。
専用アプリでどちらかの映像を削除した場合、もう一方の映像ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(● P.24「常時録画」)

リアカメラの映像が映らない

- ☐ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。(● P.42)
リアカメラが接続されているかアイコンで確認してください。



：接続時



：未接続時

音声によるお知らせをしない

- ☐ 音量[OFF]になっていませんか。
音量[OFF]では音声や音によるお知らせをしません。音量を確認してください。(● P.62、95)

無線LAN接続できない

- ☐ 無線LAN接続待機中になっていますか。
無線LANボタンを押して、無線LAN接続待機中にしてから無線LAN接続を行ってください。(● P.73)
- ☐ 無線LAN名称(SSID)や無線LANパスワードを変更してわからなくなった場合は本体のみで初期化してください。(● P.60)

無線LAN通信が途切れる

- ☐ 現在使用しているスマートフォンの他にも、本体と無線LAN(Wi-Fi)接続を行ったことのあるスマートフォン(単数または複数)が近くにありませんか。
本体と無線LAN接続するスマートフォンは、1対1で使用してください。また、他のスマートフォンを本体と接続しないでください。

自動保存しない

- ☐ 初期値では[OFF]のため自動保存しません。スマートフォンイベント記録設定を変更してください。(● P.97)
- ☐ ライブ映像画面で録画していましたか。
バックグラウンド/画面OFF/ライブ映像画面以外/録画停止の状態では動作しません。

自動保存したイベント記録でフロント/リアカメラの片方しか映像がない

- ☐ スマートフォンにイベント記録の映像を自動保存する場合、イベント発生時に表示されているカメラ映像が自動保存されます。
スマートフォンに自動保存されていないフロント/リアカメラの映像は、ドライブレコーダーフォルダ(● P.88)から確認することができます。

Bluetooth接続できない

- ☐ 駐車記録Bluetoothの設定が[ON]になっていますか。(● P.60)
- ☐ 専用アプリとスマートフォンのBluetooth登録情報を解除し、再度ペアリングを行ってください。(● P.63)
解除は専用アプリのカメラリスト(● P.83)とスマートフォンの設定画面(Bluetooth)から行ってください。
- ☐ 専用アプリがスマートフォンのバックグラウンドで動作していますか。

< Android端末のみ >

- ☐ スマートフォンの「アプリのバッテリー最適化設定」または「アプリのバックグラウンドの動作設定」を確認してください。
上記設定が機能している場合、専用アプリの動作が制限されます。「バッテリー最適化しない」または「バックグラウンド動作制限しない」設定に変更してください。

専用アプリで“Peer removed pairing information”と表示される

- ☐ 専用アプリとスマートフォンのBluetooth登録情報を解除し、再度ペアリングを行ってください。(● P.63)
解除は専用アプリのカメラリスト(● P.83)とスマートフォンの設定画面(Bluetooth)から行ってください。

専用アプリの動作がおかしい

- ☐ 他のアプリやBluetooth搭載機器と同時使用していませんか。

同時使用した場合、正常に動作しないことがあります。また専用アプリが他のアプリやBluetooth搭載機器の動作に影響(一時停止等)を及ぼすことがあるため、専用アプリは単独で使用することをお勧めします。

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ インターネットに接続されていますか。

インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

- ☐ GPS測位していましたか。

録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。

- ☐ タイムラプスモードで録画していませんか。

タイムラプスモードで録画した場合、GPS/音声データが記録されないため、地図(Google Maps)は表示されません。

駐車記録しない

<マルチバッテリー(OP-MB4000)>

- ☐ 電源コネクターは接続されていますか。

- ☐ オフタイマー設定が[使用しない]、またはディップスイッチ4がOFFになっていませんか。(☛ P.46)

上記の設定では車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

<駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)>

- ☐ 駐車記録スイッチはONになっていますか。(☛ P.51)

- ☐ オフタイマー設定が[OFF]になっていませんか。(☛ P.50)

オフタイマー設定が[OFF]になっていると、車両停止(ACC OFF)後の本機への電源供給が行われません。

- ☐ 車両停止(ACC OFF)時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。

検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(☛ P.50)

駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)にならない<自動>

- ☐ 駐車記録の設定を確認してください。(☛ P.61、95)

- ☐ 別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)を接続していますか。(☛ P.19)

勝手に駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)になってしまう

- ☐ 電源コードのコネクターを奥まで挿し込んでいますか。

コネクターを奥まで挿し込んでいない場合、駐車記録モード(タイムラプス/動体検知)へ移行することがあります。奥まで挿し込まれているかご確認ください。(☛ P.44、47、49)

仕様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】 69 (幅) × 76 (高さ) × 42 (奥行) mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 81 (高さ) mm (窓ガラス 25° 想定の場合) 【リア】 57 (幅) × 30 (直径) mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 39 (高さ) mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	【フロント】 約 157g (microSD カード含む) 【リア】 約 28g
記録媒体	microSD カード (32GB 付属) 16GB ~ 128GB (Class10 以上)
撮像素子	【フロント】 500 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ¹) 【リア】 200 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※ ¹)
最大記録画角	【フロント】 水平 360° × 垂直 240° 【リア】 対角 158° (水平 130°、垂直 67°)
記録解像度	【フロント】 最大 340 万画素 【リア】 最大 200 万画素 【フロント】 1856 × 1856 (魚眼)、2048 × 1536 (2 分割) 【リア】 1080P (1920 × 1080)、720P (1280 × 720)
F 値	【フロント/リア】 2.0
GPS	有
G センサー	有 (感度設定可能)
HDR	有 (フロント/リア)
最低被写体照度	0.5LUX (ルクス)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録 < 手動録画 >) ／ 駐車記録 (タイムラプス、動体検知)※ ²
録画ファイル構成	30 秒単位、7 分単位※ ³ 、14 分単位※ ³
音声録音	ON / OFF 可能
フレームレート	28 コマ / 秒、14 コマ / 秒、1 コマ / 秒※ ³
映像ファイル形式	MP4
記録映像 再生方法	・ スマートフォン用アプリ「DR Remote TypeE」(弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・ 専用ビューアソフト「PC Viewer TypeN」※ ⁴ (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・ Windows 標準の「映画 & テレビ」※ ⁴
電源電圧	DC 12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	7.5W
動作温度範囲	- 10℃ ~ + 60℃
製品保証期間	3 年 (消耗品は除く)

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※¹ : STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。

※² : 駐車記録には別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000)、または駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5L) が必要です。

※³ : タイムラプスモード中のみ。

※⁴ : Microsoft Windows 11、10 に対応しています。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

別売品：駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5L)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	5V (2A)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V/12.4V/12.6V 24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V/24.4V/24.6V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃～+60℃
外形寸法	53(幅)×67(高さ)×23(奥行)mm(突起部除く)
本体重量	約222g(ケーブル含む)

- ・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
- ・App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- ・Google Play、Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。
- ・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporation の、商標または登録商標です。
- ・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
- ・「Bluetooth®」は、Bluetooth SIG, Inc.の商標または登録商標です。
- ・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

- ※本機と市販品のmicroSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。
- ※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ※容量が大きいSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC / microSDXC カード
容量	16GB ~ 128GB
SD スピードクラス	Class 10 以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SD カード容量	通常時			
	28 コマ/秒 (28 FPS) 初期値		14 コマ/秒 (14 FPS)	
	リアカメラ解像度 [1080P](初期値)	リアカメラ解像度 [720P]	リアカメラ解像度 [1080P]	リアカメラ解像度 [720P]
128GB	約 320 分	約 360 分	約 640 分	約 720 分
64GB	約 160 分	約 180 分	約 320 分	約 360 分
32GB (付属)	約 80 分	約 90 分	約 160 分	約 180 分
16GB	約 40 分	約 45 分	約 80 分	約 90 分

SD カード容量	タイムラプスモード時	
	1 コマ/秒 (1 FPS)	
	リアカメラ解像度 [1080P](初期値)	リアカメラ解像度 [720P]
128GB	約 152 時間	約 184 時間
64GB	約 76 時間	約 92 時間
32GB (付属)	約 38 時間	約 46 時間
16GB	約 19 時間	約 23 時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※録画時間は、常時録画とイベント記録 (G センサー記録とワンタッチ記録) の全ての録画時間の合計です。

※お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因により録画可能時間は変化します。

※映像記録方式 (魚眼/2 分割) による録画可能時間の変化はありません。

2. イベント記録の最大記録件数

SD カード容量	28コマ/秒(28 FPS) 初期値		14コマ/秒(14 FPS)	
	リアカメラ解像度 [1080P](初期値)	リアカメラ解像度 [720P]	リアカメラ解像度 [1080P]	リアカメラ解像度 [720P]
128GB	240件	304件	480件	608件
64GB	120件	152件	240件	304件
32GB(付属)	60件	76件	120件	152件
16GB	30件	38件	60件	76件

※ 上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

※ 映像記録方式(魚眼/2分割による件数の変化はありません。

※ 最大記録ファイル数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

※ 1件につき2ファイル(フロント+リア)移動した場合。

索引

数字

- 2分割表示 55, 78, 106
- 360° VR表示 78

A

- ACアダプター 19

B

- Bluetoothペアリング 60, 63, 96

D

- DISP ボタン 17, 22, 62, 70

G

- G センサー感度 25
- G センサー記録 25

L

- LCDフラッシュ 34, 81

M

- MENU ボタン 17, 22, 62, 70
- MODE ボタン 17, 22, 62, 70

O

- OP-E368 19
- OP-MB4000 19, 35, 45, 118
- OP-SD32M 19
- OP-SD64M 19
- OP-VMU5L 19, 35, 48, 118

R

- REC/STOP ボタン 17, 22, 62, 70

S

- SDカード 12, 19, 20, 119
- STARVIS 117

W

- WLAN ボタン 17, 22, 62, 70

あ

- アフターサービス 123
- アプリ設定画面 96
- アルバム画面 85
- アルバム画面ボタン 77, 84

い

- イベント記録 22, 24

う

- 上書き禁止 26
- 上書きモード 25, 95

え

- 映像記録方式 61, 91, 93

お

- お客様ご相談センター 123
- 音声ボタン 77, 81
- 音声録音 54, 60, 95, 117

か

- カメラ切替ボタン 77, 79
- カメラリスト画面 83
- カメラリストボタン 77, 82

き

- 魚眼表示 55, 77, 78, 106

け

- 警報機能 61, 95
- 警報ボタン 77, 81
- 圏外通知 96
- 圏内通知 96

さ

- 再生モード 69
- サイレン 34, 81

し

- 自動接続 76, 96
- 自動保存 97
- 車内表示 55, 106
- 常時録画 22, 24
- 常時録画上書き 26
- シリアルナンバー 16

す

- すべて上書き 26
- スマートフォンストレージ制限値 100
- スマートフォン通知 34

せ

- 設定メニュー 60
- 前方表示 55, 106
- 専用アプリ 73
- 専用ビューアソフト 101, 103

索引

た

- タイムラプスモード 27, 80
- ダウンロードボタン 86, 89

ち

- 駐車監視機能 34
- 駐車監視用 電源直結コード... 19, 35, 48, 118
- 駐車記録方式 61, 95
- 駐停車記録 31, 61, 95

て

- 電源直結コード 18, 35, 44
- 電源ランプ 16, 52

と

- 動画記録モード 21
- 動画撮影ボタン 77, 80
- 動体検知モード 28
- ドライブレコーダー設定画面 93

は

- バックアップ機能 13

ひ

- ビデオ表示モード 78

ふ

- フォーマット 14, 65, 95, 99
- 付属品・別売品の購入 19
- フレームレート 60, 93, 117

ま

- マルチバッテリー 19, 35, 45, 118

め

- メニューボタン 77, 90
- メンテナンス 35

ら

- ライブ映像 34, 77

り

- リアカメラ解像度 60, 93
- リアカメラケーブル 18
- リアカメラ表示 55
- リセットボタン 16, 17
- 履歴表示 33

ろ

- 録画時間 119

わ

- ワンタッチ記録 25, 54

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のかとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎてるとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用ビューアソフト、専用アプリは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>